

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル

24章 システムとファイル仕様

(章別取扱説明書 v1.10)

株式会社 エスアイ創房

KaracrixBuilder

■ 改定履歴

第 1.00 版 2008/12/01

第 1.10 版 2015/08/10 /usr/obj2 説明の追加 (KBv3.50)

■ おことわり

- (1) 本書内容の一部又は全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書内容は、将来予告無く変更する場合があります。

KARACRIX は株式会社エスアイ創房の登録商標です。

KaracrixBuilderV3 システムマニュアル 第 1.10 版 © S.I.Soubou Inc.

目次

24 章 システムとファイル仕様	24-1
24.1 オブジェクトについて	24-1
24.1.1 ポイントオブジェクト	24-2
24.1.2 プログラムオブジェクト	24-2
24.1.3 ポイントオブジェクトの実体と使い方	24-3
24.1.4 オブジェクトメモリの読み書きについて	24-6
24.2 ディレクトリ構成	24-13
24.3 OS 環境ファイル	24-15
24.4 デジタル文字テーブルへの定義追加	24-15
24.5 計測トレンドグラフ描画データ一時保存ファイルのフォーマット	24-16
24.6 計測データ記録ファイルのフォーマット	24-18
24.7 操作履歴ファイルのフォーマット	24-23
24.8 警報履歴ファイルのフォーマット	24-28
24.9 資料	24-31

24章 システムとファイル仕様

KaracrixBuilder の管理対象であるオブジェクトと、システム全体の運用に係わる主要なシステムファイルの仕様について解説します。

※システム関連の解説は、今後充実させていく予定です。

24.1 オブジェクトについて

はじめに、KaracrixBuilder で管理する「対象」つまり「オブジェクト」について解説します。

KaracrixBuilder では、監視、計測、制御の「対象」を総称して「オブジェクト」として抽象化して扱います。オブジェクトには、実際に監視、計測、制御の対象になる様々な仕様のセンサ、アクチュエータとの入出力を扱う「ポイントオブジェクト」と、ポイントに対する監視や制御を行なうプログラム自体を抽象化した「プログラムオブジェクト」があります。

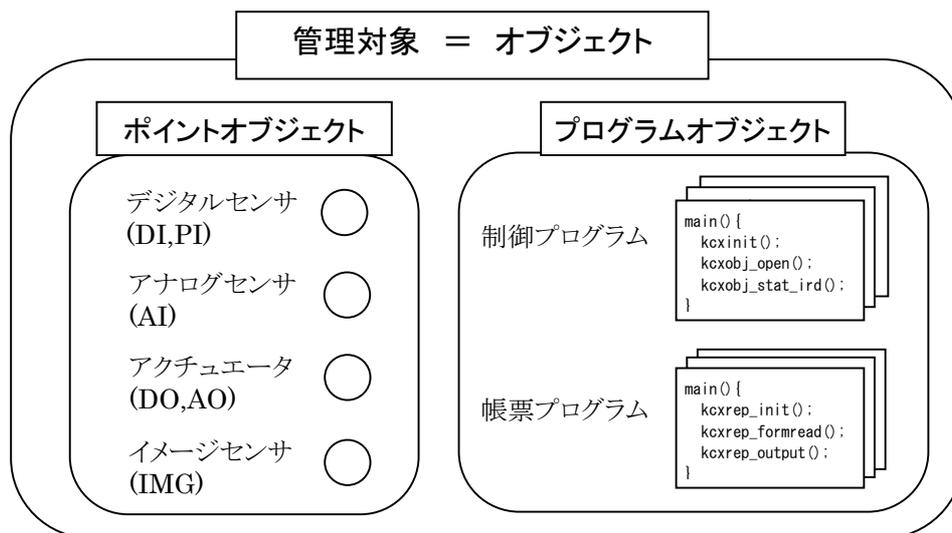


図 24.1.1 オブジェクトの概要

24.1.1 ポイントオブジェクト

ポイントオブジェクトは、監視、計測、制御の対象となる各種センサ、アクチュエータを入出力データの特性により分類して管理するオブジェクトです。ポイントオブジェクトには、接続するセンサやアクチュエータの仕様に合わせて属性定義を行なう必要があります。ポイントとしてシステム上で記号化して扱うことで各種設定やプログラミングでの記述がシンプルになります。

以下に、KaracrixBuilder で扱うポイントオブジェクトについて解説します。

(1) DI および DO ポイントオブジェクト

DIとは Digital Input の略で、「2値(1、0値)入力」という意味です。つまりDIポイントオブジェクトとは2つの状態を取りうるオブジェクトのことです。例えば「ON/OFF」という2つの状態を持つスイッチの状態などを取得するセンサなどに使用します。

DOとは Digital Output の略で、「2値(1、0値)出力」という意味です。例えば照明器具やモーターなどに電源を供給するパワーリレーなどの ON/OFF などに使用します。

(2) PI ポイントオブジェクト

PIとは Pulse count accumulate Input の略で、「カウンタ計数値の入力」という意味です。電力量、熱量、流量や風量などを計数積算値として計測する、計数型データ(整数)を扱う場合に使用します。

(3) AI および AO ポイントオブジェクト

AIとは Analog Input の略で、「アナログ(実数値)の入力」という意味です。各種アナログセンサからの計測値入力などに使用します。

AOとは Analog Output の略で、「アナログ(実数値)の出力」という意味です。アナログを入力とするアクチュエータなどのドライブなどに使用します。

(4) IMG ポイントオブジェクト

IMG ポイントオブジェクトとは、画像イメージを扱うオブジェクトです。CCD カメラなどからのビデオ信号をビデオキャプチャボードで取り込みデジタルデータ化したもの等を対象とします。この機能を活用するには、OS のビデオキャプチャボード用デバイスドライバ等が有効になっている必要があります。

24.1.2 プログラムオブジェクト

KaracrixBuilder では、「制御プログラム」、「帳票プログラム」などの実行可能なプログラムもオブジェクトとして扱える様に拡張されています。

制御プログラムは、ctlprg オブジェクトとして定義されます。

帳票プログラムは、priprg オブジェクトとして定義されています。

これらも、オブジェクトとして制御対象になりますが、直接外部機器と対応づけされていないので「ポイント登録」画面では、設定対象になっていません。

ctlprg オブジェクトについては、「12章 制御プログラム」を参照して下さい。

priprg オブジェクトについては、「14章 帳票プログラム」を参照して下さい。

24.1.3 ポイントオブジェクトの実体と使い方

KaracrixBuilder 内部でのポイントオブジェクトの物理的実体はオブジェクトメモリと呼ばれる**共有メモリ**です。その共有メモリに対してアプリケーションがどのようなデータをセットするのか、またどのように使うのかによって、そのポイントオブジェクトの性格が変わってきます。

○実ポイントオブジェクト

センサから取得したデータを KaracrixBuilder に取り込む場合、通信制御プログラムでリモート I/O 装置からデータを取得した後、KCX ライブラリ関数を使用してデータをオブジェクトメモリにセットします。

このセットされたセンサからの入力データは、監視パネルに配置した動部品に、その OBJID を指定することにより監視パネル上の動部品の値として監視することができるようになります。

このように、センサからの入力値をポイントオブジェクトに割り付けて参照する場合を、ここでは便宜的に「実ポイントオブジェクト」と呼びます。

○疑似ポイントオブジェクト

一方、センサからの入力値を直接割り付けたポイントオブジェクト以外のポイントオブジェクトに、各種演算など付加的な処理を行なった結果を保持するようなポイントオブジェクトを「疑似ポイントオブジェクト」と呼んでいます。

疑似ポイントオブジェクトとは、実際の計測ポイントに割り付けられたもの以外の全てのポイントオブジェクトを指します。

24.1.3.1 オブジェクトメモリと各種監視機能とのデータ連携の概要

各種センサからの入力データは、リモート I/O 装置を経由して通信制御プログラムが読み込んでポイントのオブジェクトメモリに定期的な更新タイミングで書き込みます。そしてオブジェクトメモリに書き込まれている計測データを「監視パネル」や「トレンドグラフ」また「制御プログラム」「帳票プログラム」などの各種監視機能からこれを参照することで監視システムが機能するようになっています。

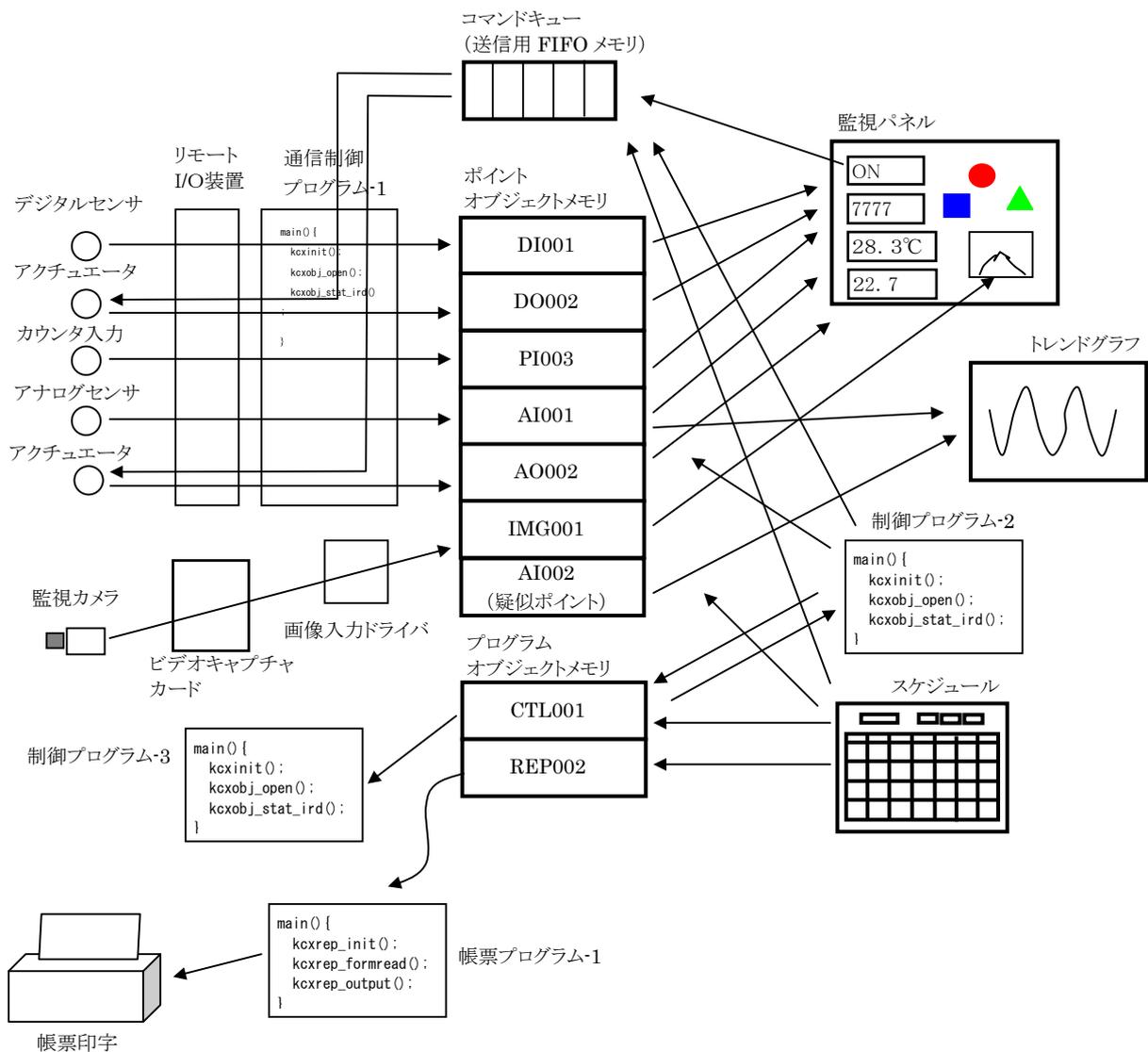


図 24.1.2 オブジェクトの概念

24.1.3.2 オブジェクトメモリの内部構成

KaracrixBuilder は、システム起動時にポイント登録ファイル (sys_S_obj_point.edt) からポイント毎の属性情報を読み込んでオブジェクトメモリに展開します。その後の属性情報への読み書きは、一部を除いてオブジェクトメモリに対して行われるようになります。

オブジェクトメモリの属性情報をシステムの各種機能や制御プログラムから読み書きするために KCX ライブラリ関数 (23 章参照) が提供されています。

以下の図に、KaracrixBuilder の運用時に使用される代表的なオブジェクトメモリのメンバと、そのメモリメンバへの参照、更新を行なう各種機能モジュールの関連を示します。

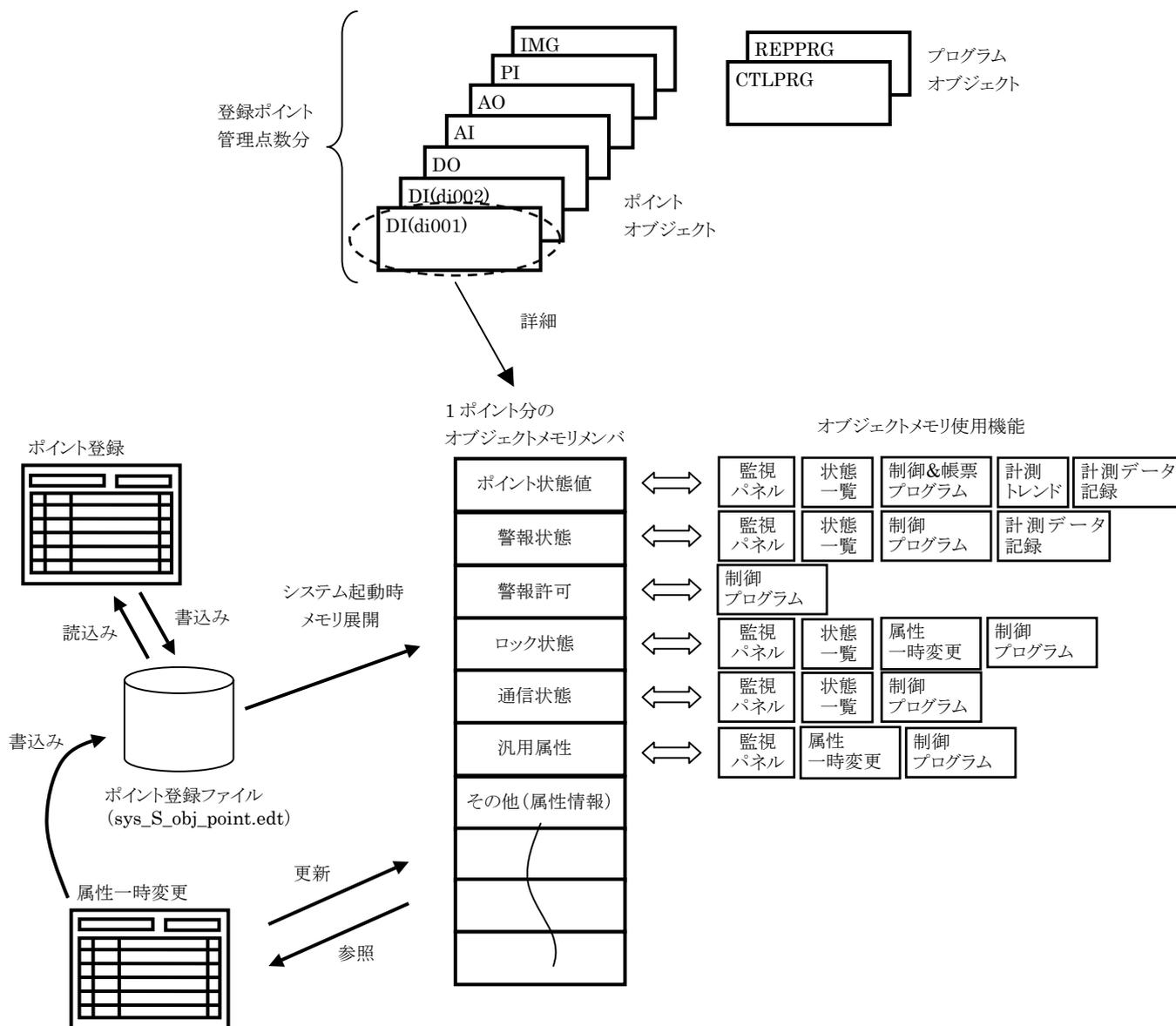


図 24.1.3 オブジェクトメモリの参照関係図

24.1.4 オブジェクトメモリの読み書きについて

KaracrixBuilder で使用される代表的なオブジェクトメモリについて、コンソール画面等のシステム内部から読み書きを行っている部分と、制御プログラムから読み書きを行なう場合に使用する KCX ライブラリ関数について以下で解説します。

(1) ポイント状態値

ポイント状態値は、ポイントオブジェクトの種別によって以下の情報を保持するオブジェクトメモリです。主に制御プログラムからポイントの状態値としてデータが書き換えられています。

場合によっては、システム画面からも書き換えられることがあります。

- デジタル入力(DI)、出力(DO) → 状態値(整数値)
- カウンタ入力(PI) → 計数值(整数値)
- アナログ入力(AI) → 計測値(実数値)
- アナログ出力(AO) → 制御値(実数値)

以下のシステム画面から使用されています。

- 監視パネル
- 状態一覧
- 計測トレンド
- 計測データ記録

制御プログラムから使用する場合、以下の KCX ライブラリ関数を使用します。

- kcxobj_stat_ird 関数 (整数型オブジェクトの状態値を取得する)
- kcxobj_stat_iwt 関数 (整数型オブジェクトの状態値を設定する)
- kcxobj_stat_frd 関数 (実数型オブジェクトの状態値(計測値等)を取得する)
- kcxobj_stat_fwt 関数 (実数型オブジェクトの状態値(制御値等)を設定する)

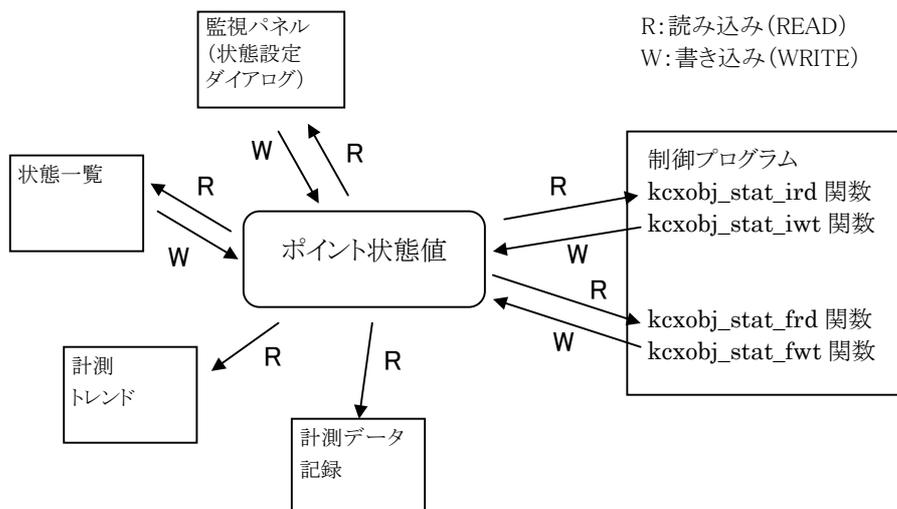


図 24.1.4 オブジェクトメモリ(ポイント状態値)の参照関係

(2) 警報状態値

警報状態値は、ポイントオブジェクトの警報発生状態の情報を保持するオブジェクトメモリです。主に警報制御プログラムによってポイントの警報状態値としてデータが書き換えられています。

以下のシステム画面から参照されています。

- 監視パネル
- 状態一覧
- 計測データ記録

警報制御プログラムから使用する場合、以下の KCX ライブラリ関数を使用します。

- kcxobj_alm_stat_ird 関数 (オブジェクトの警報発生状態値を取得する)
- kcxobj_alm_stat_iwt 関数 (オブジェクトの警報発生状態値を設定する)

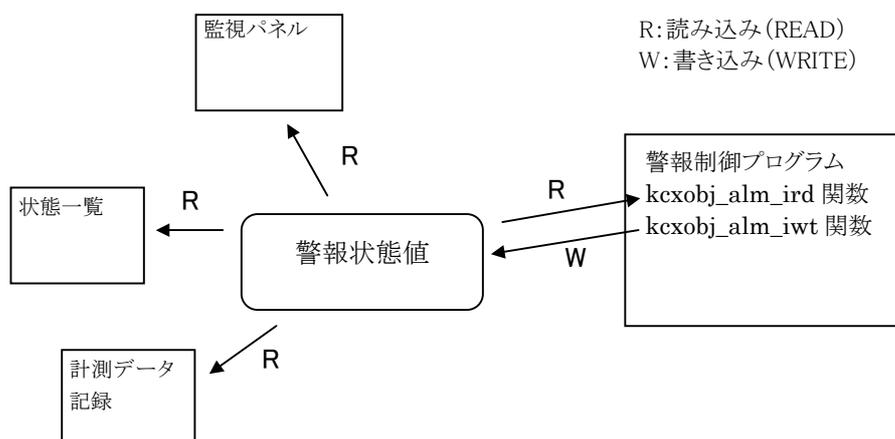


図 24.1.5 オブジェクトメモリ(警報状態値)の参照関係

(3) 警報許可

警報許可は、ポイントオブジェクトの警報監視機能を有効にするか否かの許可を保持するオブジェクトメモリです。

主にシステム画面によって許可／非許可設定する時にデータが書き換えられています。

以下のシステム画面から使用されています。

- 属性一時変更

警報制御プログラムから使用する場合、以下の KCX ライブラリ関数を使用します。

- kcxobj_alm_perm_ird 関数 (オブジェクトの警報監視許可を取得する)
- kcxobj_alm_perm_iwt 関数 (オブジェクトの警報監視許可を設定する)

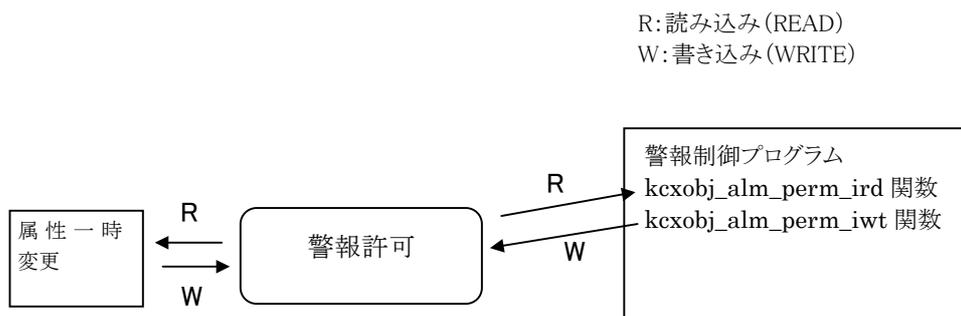


図 24.1.6 オブジェクトメモリ(警報許可)の参照関係

(4) ロック状態

ロック状態は、ポイントオブジェクトのロック状態を保持するオブジェクトメモリです。
 主にシステム画面によってロックを ON/OFF する時にデータが書き換えられています。
 場合によって、制御プログラムからも書き換えられることがあります。
 以下のシステム画面から使用されています。

- 監視パネル
- 状態一覧
- 属性一時変更

制御プログラムから使用する場合、以下の KCX ライブラリ関数を使用します。

- kcxobj_lock_ird 関数 (オブジェクトのロック状態を取得する)
- kcxobj_lock_iwt 関数 (オブジェクトのロック状態を設定する)

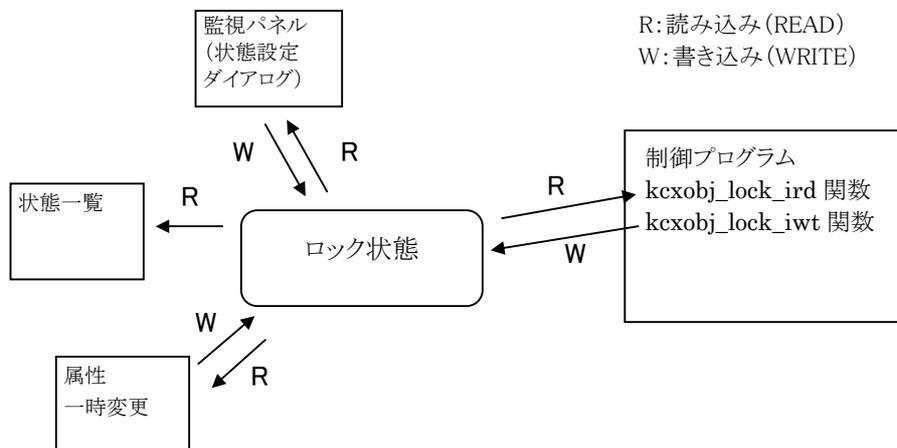


図 24.1.7 オブジェクトメモリ(ロック状態)の参照関係

(5) 通信状態

通信状態は、ポイントオブジェクトの実体(センサなど)との通信状態を保持するオブジェクトメモリです。主に制御プログラムによってデータが書き換えられているところです。

以下のシステム画面から参照されています。

- 監視パネル
- 状態一覧

制御プログラムから使用する場合、以下の KCX ライブラリ関数を使用します。

- kcxobj_online_ird 関数 (オブジェクトの通信状態を取得する)
- kcxobj_online_iwt 関数 (オブジェクトの通信状態を設定する)

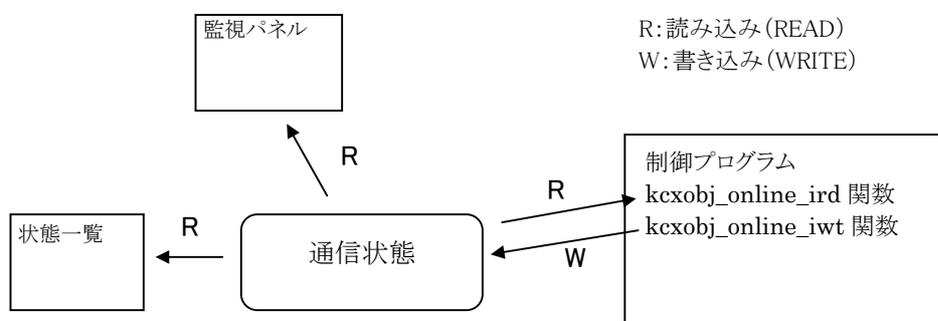


図 24.1.8 オブジェクトメモリ(通信状態)の参照関係

(6) 汎用属性

汎用属性は、ポイントオブジェクト毎に整数型、実数型、文字列型の汎用的な属性値を保持する多目的なオブジェクトメモリです。

以下のシステム画面から使用されています。

- 監視パネル
- 属性一時変更

制御プログラムから使用する場合、以下の KCX ライブラリ関数を使用します。

- kcxobj_atbut_ird 関数 (オブジェクトの汎用整数属性値を取得する)
- kcxobj_atbut_iwt 関数 (オブジェクトの汎用整数属性値を設定する)
- kcxobj_atbut_frd 関数 (オブジェクトの汎用実数属性値を取得する)
- kcxobj_atbut_fwt 関数 (オブジェクトの汎用実数属性値を設定する)
- kcxobj_atbut_crd 関数 (オブジェクトの汎用文字属性値を取得する)
- kcxobj_atbut_cwt 関数 (オブジェクトの汎用文字属性値を設定する)

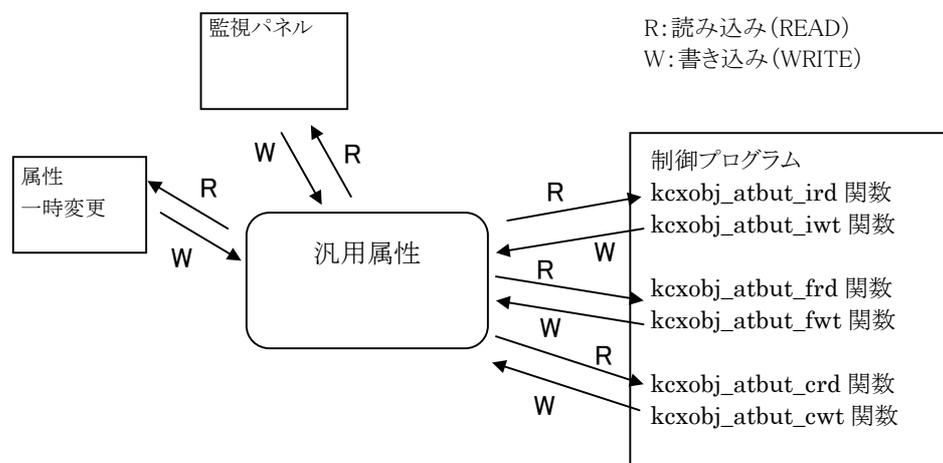


図 24.1.9 オブジェクトメモリ(汎用属性)の参照関係

(7) その他、各種属性メモリ

その他の各種属性メモリ情報への読み書きについては、「23 章 KCX ライブラリファレンス」を参照して下さい。

24.2 ディレクトリ構成

KaracrixBuilder インストールディレクトリの構成を以下に示します。

\$KARACRIX は、KaracrixBuilder がインストールされたトップディレクトリを意味します。

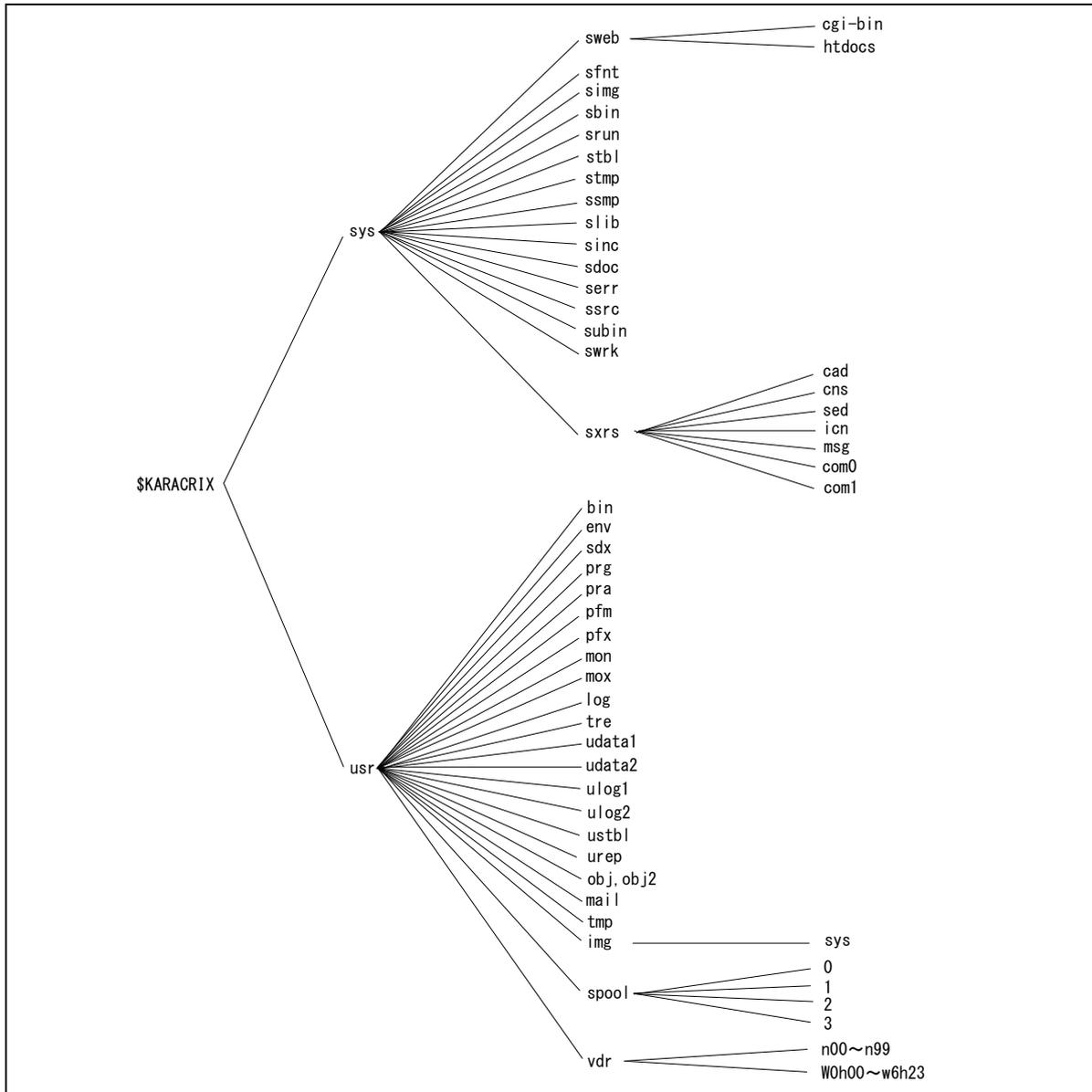


図 24.2.1 ディレクトリ構成

機能的に、大きく2つのディレクトリに分類されます。

sys	KaracrixBuilder システム用
usr	KaracrixBuilder ユーザ用 (ユーザが作成したデータの保存エリア)

以下に、sys ディレクトリの概要を示します。

sys/sbin	KaracrixBuilder システム実行コアプログラム
sys/subin	ルート権限システム実行プログラム
sys/web	ネットワークアクセス用 HTML&CGI ファイル
sys/srun	実行情報ファイル
sys/sinc	インクルードファイル
sys/slib	アーカイブライブラリ
sys/stbl	テーブル定義ファイル
sys/sxrs	GUI 用画面リソースファイル
sys/simg	GUI 用ビットマップファイル
sys/sfnt	アウトラインフォントデータ(製品版)
sys/sdoc	著作権(クレジット)表示
sys/stmp	システム一時ファイル(karacrix.h 生成等)
sys/swrk	システム作業ディレクトリ
sys/serr	システムエラー出力(未使用)
sys/ssrc	ライブラリソースファイル
sys/ssmp	サンプルファイル

以下に、usr ディレクトリの概要を示します。

usr/env	システム環境定義ファイル
usr/etc	汎用設定ファイル(未使用)
usr/sdx	画面設定データファイル
usr/bin	コンパイル済プログラム実行ファイル
usr/prg	プログラムソースファイル
usr/pr	プログラムパラメータファイル
usr/mon	監視画面 CAD ファイル
usr/mox	監視画面 CAD 用複合部品ファイル
usr/pfm	帳票書式 CAD ファイル
usr/pfx	帳票 CAD 用複合部品ファイル
usr/img	ユーザ作成ビットマップファイル
usr/log	記録ファイル
usr/tre	計測トレンド一時保存ファイル
usr/obj	画像イメージ一時保存ファイル (RAMDISK 使用時もある)
usr/obj2	ポイントデータ保存ファイル (積算値など保存が必要な場合に使用:KBv3.50 以降)
usr/spool	印刷出力用スプールファイル
usr/vdr	画像記録ファイル
usr/mail	Eメール電文送信スプール
usr/ustbl	sys/stbl の定義ファイルのコピーでユーザカスタマイズ用
usr/urep	帳票 CAD の文字枠部品の外部テキストファイルインポートディレクトリ
usr/udata1	ユーザフリーデータファイル 1
usr/udata2	ユーザフリーデータファイル 2
usr/ulog1	ユーザフリー記録ファイル 1
usr/ulog2	ユーザフリー記録ファイル 2

※上記ディレクトリ内の各種設定ファイルは、KaracrixBuilder が使用します。本マニュアルまたはその他の記述(会社のホームページ等)に説明のないものは変更しないでください。誤動作の原因になる場合があります。

24.3 OS 環境ファイル

KaracrixBuilder で使用する OS 資源の定義ファイルについて解説します。

●KaracrixBuilder システムコンフィギュレーションファイル

KaracrixBuilder は、OS が備えるコマンドを KaracrixBuilder 内部から使用する場合があります。このコマンドへのパスが、「KaracrixBuilder システムコンフィギュレーションファイル」に記述しているものと異なる場合、これを正しく修正する必要があります。また、このファイルには KaracrixBuilder のシステム設定に係わるコンフィギュレーションデータも定義されています。弊社にお問い合わせの上、修正してください。

```
$KARACRIX/usr/env/sysconf.env
```

内容は「本章 資料 1」を参照下さい。

●Linux&UnixOS 資源環境設定ファイル

KaracrixBuilder が使用する OS 資源と同じもの(共有メモリー、セマフォキー、ソケットのポート番号など)を使用する他のソフトウェアがある場合には資源の競合が生じますので「Linux&UnixOS 資源環境設定ファイル」を書き換える必要があります。弊社にお問い合わせの上、修正してください。

```
$KARACRIX/usr/env/sysunix.env
```

内容は「本章 資料 2」を参照して下さい。

24.4 デジタル文字テーブルへの定義追加

ON/OFF の 2 値のデジタル値を文字に変換表示させる時に参照するファイルが「デジタル文字テーブルファイル」です。デジタル値と表示文字を関連付けています。

sys ディレクトリにある kcxttext_stat_binary.tbl が usr/ustbl にコピーしてあった場合、この usr ディレクトリにある kcxttext_stat_binary.tbl を使用します。データを追加する場合には、この usr ディレクトリにコピーしたファイルをエディタで編集して下さい。

ファイルの内容は、ポイント登録で状態文字や警報文字を設定する際の「状態文字選択」ダイアログの一覧に表示されます。

```
$KARACRIX/sys/stbl/kcxttext_stat_binary.tbl (システムオリジナル)  
$KARACRIX/usr/ustbl/kcxttext_stat_binary.tbl (存在時参照優先)
```

内容は「本章 資料 3」を参照して下さい。

24.5 計測トレンドグラフ描画データ一時保存ファイルのフォーマット

計測トレンドグラフの「グラフ描画」画面で“表示データ保存”ボタンを押してデータ保存を行なうと、トレンドグラフ描画データ一時保存ファイルとして描画ポイントの状態や計測データがテキストファイル形式で以下のディレクトリに生成されます。

```
$KARACRIX/usr/tre
```

●ファイル名

ファイル名の生成ルールは、以下のようになっています。

```
sys_trmYYMMDDhhmmss.log
```

YY: 西暦年の下 2 桁 (00~99)
 MM: 月 (01~12)
 DD: 日 (01~31)
 hh: 時 (00~23)
 mm: 分 (00~59)
 ss: 秒 (00~59)

●ファイルのフォーマット

ファイルはテキスト形式で以下のようなフォーマットになっています。

4-12 行目は、トレンドグラフ描画条件設定で登録したポイントオブジェクトの数によって可変長になっており、カンマ区切りで最大 8 項目までデータが並ぶことになります。

13 行目以降に計測データが最新のものから降順に並んでいます。

1 行目	コメント
2 行目	サンプリング時間(秒),横拡大表示倍率(%),縦拡大表示倍率%(未使用),横時間軸幅(秒)
3 行目	“グラフタイトル名”
4 行目	オブジェクト登録表示行番号,....
5 行目	“オブジェクト ID 名”,....
6 行目	オブジェクト ID,....
7 行目	データ型,.... (0:整数 1:実数)
8 行目	ハイレンジ値,....
9 行目	ローレンジ値,....
10 行目	線色番号,.... (1:赤,2:緑,3:青,4:黄,5:水色,6:桃色,7:紫,8:蜜柑)
11 行目	線幅,.... (1~4ドット)
12 行目	線種,.... (1:実線)
13 行目	データ番号,縦時間軸表示フラグ,計測時間(UNIX タイム),データ 1,データ 2,....
...	
n 行目	データ番号,縦時間軸表示フラグ,計測時間(UNIX タイム),データ 1,データ 2,....

以下に、サンプルファイルの内容を示します。

```
#Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.  
1,100,100,120  
"計測テスト"  
0,1,2  
"bi01","aii01","aif01"  
55,175,213  
0,0,1  
10,100,100.000000  
0,0,0.000000  
1,2,3  
1,1,1  
1,1,1  
994,0,940398044,1,50,64.377098  
993,0,940398043,1,58,65.462513  
992,0,940398042,1,65,66.545418  
991,0,940398041,0,72,67.561493  
990,0,940398040,0,79,68.526627
```

24.6 計測データ記録ファイルのフォーマット

計測データ記録の設定を有効にすると、記録ファイルとして各種ポイントオブジェクトの状態や計測データが(バイナリファイルとして)以下のディレクトリに生成されます。

```
$KARACRIX/usr/log
```

●ファイル名

ファイル名の生成ルールは、以下のようになっています。

```
sys_itvYYMM.log
```

YY: 西暦年の下 2 桁 (00~99)

MM: 月 (01~12)

●ファイルのフォーマット

ファイルのフレームフォーマットを表 24.6.3 に示します。40byte の固定長になっています。

(1) フレームヘッダ部 (1~32 バイト目)

①フレーム属性情報

1 バイト目は、データフレームの属性情報が定義されています。

表 24.6.1 フレーム属性情報の定義

項目	size(bit)	説明
Version	2	バージョン番号 00: (2008 現在)
Delete	1	削除フラグ 0: 未削除 1: 削除
AddRec	1	追加レコードフラグ 0: 通常 1: 追加
Edit	1	編集フラグ 0: 通常 1: 編集
Alm	1	警報フラグ 0: 未発生 1: 発生
Rsv	1	予約(未使用)
Endian	1	データバイト順序 (LSB と MSB に影響) 0: LITTLE ENDIAN (x86CPU 等) 1: BIG ENDIAN

②格納データ型

2バイト目は、データ型が定義されています。

表 24.6.2 格納データ型の定義

項目	size(bit)	説明
Rsv	4	予約(未使用)
Data Type	4	データ型 0001: デジタル値(2値) (char) 0010: カウント値(アナログ整数) (integer) 0011: アナログ値(アナログ実数) (double)

表 24.6.3 フレームのフォーマット

Bit Byte	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Version		Delete	AddRec	Edit	Alm	Rsv	Endian
2	Rsv				Data Type			
3	UnitCode							
4	UnitCode							
5	Etc							
6	Etc							
7	Adjust Time							
8	Adjust Time							
9	Data Time							
10	Data Time							
11	Data Time							
12	Data Time							
13	Data Time							
14	Data Time							
15	Data Time							
16	Data Time							
17-32	Object ID							
33-40	Data							

③単位コード部 (short 型)

3-4バイト目の2byteは、アナログ型ポイントの場合に使用されています。ポイント登録の属性設定画面で単位の設定に選択した選択番号が格納されています。単位の選択番号は、単位登録で登録するCode 番号を意味します。

④汎用データ部 (short 型)

5-6 バイト目の 2byte は、汎用データ部として予約されています。(未使用)

⑤データ時間補正部 (short 型)

7-8 バイト目の 2byte は、ネットワーク上に複数の KaracrixBuilder システムが存在する場合に基準タイムサーバーとなるホストの時間との誤差を補正(秒)する場合に使用します。KaracrixBuilder を単独で使用する場合には現在未使用になっています。

⑥データ時間部 (long long 型)

9-16 バイト目の 8byte は、計測データの計測時刻がホスト OS の UNIX 時間(1970/1/1 通算秒形式)で格納されています。

⑦オブジェクトID部 (char[16]型)

17-32 バイト目の 16byte は、計測ポイントの OBJID が 16 桁以下のアスキー文字列(半角)で格納されています。OBJID 文字列の埋まらない領域は 0 パディングされています。文字列が 16 桁の場合の終端を示すデリミタ(¥0)は考慮されていないので注意が必要です。

(2) フレームデータ部(33~40 バイト目)

①データ部 (unsigned short[4]型、int[2]型、double 型)

33-40 バイト目の 8byte 内に、ポイントの計測データが格納されています。格納されているデータ型は、フレームヘッダ部の DataType により判断します。

デジタル型ポイントの状態データの場合には、表 24.6.4、表 24.6.5 に示すように OnLogic フラグの値により状態情報の論理が定義されています。

カウンタ値のような整数型ポイントの状態データの場合には、33-36 バイト目の 4byte に、int 型として格納されています。アナログ値のような実数型ポイントの状態データの場合には、33-40 バイト目の 8byte に、double 型として格納されています。

表 24.6.4 デジタルデータ格納エリアの定義

Byte	Bit	8	7	6	5	4	3	2	1
33 (LittleEndian)		—	—	—	—	—	—	—	Status
34 (BigEndian)									
37 (LittleEndian)		—	—	—	—	—	—	—	OnLogic
38 (BigEndian)									

表 24.6.5 デジタルデータの ON 論理

項目	size(bit)	説明
On Logic	1	status の ON 論理 0: データが 0 で ON を意味する 1: データが 1 で ON を意味する (現在 1 固定)
Status	1	デジタルポイントの状態データ 0: 状態値 1: 状態値

●ポイントデータの格納形式

計測データ記録条件設定で登録されたポイントの計測データは、設定されている時間間隔のタイミングで、以下のように登録番号の順番に 1 ポイント 1 フレームとして記録ファイルに保存されます。

表 24.6.6 記録ファイル保存形式

ポイントフレーム(40byte)

○記録ファイル手動読み出しサンプルプログラム (リトルエンディアン CPU(x86 系)環境用の場合)

```
1 #include <stdio.h>
2 #include <stdint.h>
3 #include <string.h>
4 #include <fcntl.h>
5 #include <time.h>
6 typedef struct {
7     unsigned char  flag0;
8     unsigned char  flag1;
9     short          unitcode;
10    short          etc;
11    short          tmdjsec;
12    long long      tmsec;
13    char           objidname[16];
14 } kcxllogrech;
15 typedef struct {
16     kcxllogrech h;
17     union {
18         unsigned short  s[4];
19         int32_t          i[2];
20         double          f;
21     } d;
22 } kcxllogrec;
23 main(){
24     int      i, fd, alm, cnt=0;
25     time_t   ttime;
26     char     objidname[17];
27     char     filename [1024];
28     kcxllogrec logrec;
29     struct   tm *jikan;
30     /* 2008 年 11 月のファイル */
31     strcpy( filename, "/home/karacrix/karacrix500B/usr/log/sys_jtv0811.log" );
32     if( fd = open( filename, O_RDONLY, 0444 ) ) >= 0 ){
33         while( read( fd, (void *)&logrec, sizeof( kcxllogrec ) ) > 0 ){
34             ttime = logrec.h.tmsec + logrec.h.tmdjsec;
35             jikan = localtime( &ttime );
36             for(i=0;i<(16);i++){
37                 objidname[i] = logrec.h.objidname[i];
38             }
39             objidname[i] = (char)0;
40             printf( "objid 名 = [%s] (%d)\n", objidname, cnt++ );
41             alm = 0;
42             if( logrec.h.flag0 & 0x04 ) alm = 1;
43             printf( "記録時間: yy=%d mm=%d dd=%d hh=%d mi=%d ss=%d F0=%x (alm=%d) F1=%x\n",
44                 jikan->tm_year+1900, jikan->tm_mon+1, jikan->tm_mday,
45                 jikan->tm_hour, jikan->tm_min, jikan->tm_sec,
46                 logrec.h.flag0, alm, logrec.h.flag1 );
47             switch((int)logrec.h.flag1 & 0x0f){
48                 case 0x01:
49                     printf( "デジタル = %d (logic=%d)\n", (int)logrec.d.s[0],(int)logrec.d.s[2] );
50                     break;
51                 case 0x02:
52                     printf( "カウンタ(整数) = %d (unit=%d)\n", logrec.d.i[0],(int)logrec.h.unitcode );
53                     break;
54                 case 0x03:
55                     printf( "アナログ(実数) = %f (unit=%d)\n", logrec.d.f,(int)logrec.h.unitcode );
56                     break;
57             }
58         }
59         close( fd );
60     }
61 }
```

24.7 操作履歴ファイルのフォーマット

アプリケーション制御プログラムから操作履歴生成関数(kcxobj_ope_log_10wt 関数)を使用すると、ポイントオブジェクト等の操作履歴が(バイナリファイルとして)以下のディレクトリに生成されます。

\$KARACRIX/usr/log

●ファイル名

ファイル名の生成ルールは、以下のようになっています。

sys_opeYYMM.log

YY: 西暦年の下2桁(00~99)

MM: 月(01~12)

●ファイルのフォーマット

操作履歴ファイルのフレームフォーマットを表 24.7.2 に示します。128byte の固定長になっています。

(1) フレームヘッダ部 (1~32 バイト目)

①フレーム属性情報

1 バイト目は、データフレームの属性情報が定義されています。

表 24.7.1 フレーム属性情報の定義

項目	size(bit)	説明
Version	2	バージョン番号 00: (2008 現在)
RSV	5	予約(未使用)
ENDIAN	1	データバイト順序 (LSB と MSB に影響) 0: LITTLE ENDIAN (x86CPU 等) 1: BIG ENDIAN

表 24.7.2 フレームのフォーマット

Bit Byte	8	7	6	5	4	3	2	1
1	Version		Rsv					Endian
2	Rsv (DataType)							
3	Rsv (UnitCode)							
4	Rsv (UnitCode)							
5	Rsv (Etc)							
6	Rsv (Etc)							
7	Adjust Time							
8	Adjust Time							
9	Data Time							
10	Data Time							
11	Data Time							
12	Data Time							
13	Data Time							
14	Data Time							
15	Data Time							
16	Data Time							
17-32	Object ID							
33-36	Operator							
37-38	Priority (Type/Level)							
39-40	Attribute							
41-42	Key							
43-44	Key Mask							
45-46	Key Status							
47-48	Rsv							
49-128	Data							

②データ時間補正部 (short 型)

7-8 バイト目の 2byte は、ネットワーク上に複数の KaracrixBuilder システムが存在する場合に基準タイムサーバーとなるホストの時間との誤差を補正(秒)する場合に使用します。KaracrixBuilder を単独で使用する場合には現在未使用になっています。

③データ時間部 (long long 型)

9-16 バイト目の 8byte は、計測データの計測時刻がホスト OS の UNIX 時間(1970/1/1 通算秒形式)で格納されています。

④オブジェクトID部 (char[16]型)

17-32 バイト目の 16byte は、計測ポイントの OBJID が 16 桁以下のアスキー文字列(半角)で格納されています。OBJID 文字列の埋まらない領域は 0 パディングされています。文字列が 16 桁の場合の終端を示すデリミタ(¥0)は考慮されていませんので注意が必要です。

(2) フレームデータ部 (33~128 バイト目)

①Operator データ部 (int 型)

33-36 バイト目の 4byte 内に、出力型ポイントオブジェクトの操作者(情報発生源)のオペレータコードが格納されています。オペレータコード値に関しては、本章資料4の idcode の項を参照してください。

※履歴生成関数を実行する前に、kcxobj_operator_set 関数でオペレータコードを設定しておく必要があります。

②Priority データ部 (unsigned short 型)

37-38 バイト目の 2byte 内に、操作履歴タイプ値(0~3)が格納されています。

③Attribute データ部 (unsigned short 型)

39-40 バイト目の 2byte は、フレーム属性として予約されています。(現在未使用)

④Key データ部 (unsigned short 型)

41-42 バイト目の 2byte は、本履歴を書き込む時の、対象ポイントの履歴書式テーブルに設計定義された、Key 値(Ev_KEY)が書き込まれています。

⑤Key Mask データ部 (unsigned short 型)

43-44 バイト目の 2byte は、マスク値として予約されています。(現在未使用)

Key データ部がビットフラグデータの場合、ビット値の有効を示すマスクの目的で将来使用されます。

⑥Key Status データ部 (unsigned short 型)

45-46 バイト目の 2byte は、本履歴を書き込む時の、対象ポイントの履歴書式テーブルに設計定義された、Status 値(Ev_STAT)が書き込まれています。

⑦Rsv3 データ部 (unsigned short 型)

47-48 バイト目の 2byte は、予備です。(未使用)

⑧データ部 (union(char[8]型、int 型、long long 型、double 型)[10])

49-128 バイト目の 80byte 内に、履歴データが格納されています。

●操作履歴データの格納形式

操作履歴データは、制御プログラムから操作履歴生成関数(kcxobj_ope_log_10wt 関数)が呼び出されたタイミングで、以下のように順番に 1 履歴 1 フレームとして操作履歴ファイルに保存されます。

表 24.7.3 操作履歴ファイル保存形式

履歴フレーム(128byte)

○操作履歴ファイル手動読み出しサンプルプログラム (リトルエンディアン CPU(x86 系)環境用の場合)

```

1 #include <stdio.h>
2 #include <stdint.h>
3 #include <string.h>
4 #include <fcntl.h>
5 #include <time.h>
6 typedef struct {
7     unsigned char  flag0;
8     unsigned char  flag1;
9     short          unitcode;
10    short          etc;
11    short          tmadjsec;
12    long long      tmsec;
13    char           objidname[16];
14 } kcxllogrec;
15 typedef struct {
16     kcxllogrec     h;
17     int32_t        operator;
18     unsigned short priority;
19     unsigned short attribute;
20     unsigned short key;
21     unsigned short mask;
22     unsigned short status;
23     unsigned short rsv;
24     union {
25         union {
26             char      c[8];
27             int32_t    i;
28             long long l;
29             double     f;
30         } u[10];
31     } opt;
32 } kcxllogrec;
33 main(){
34     int      i, j, fd;
35     time_t   ttime;
36     char     objidname[17];
37     char     filename [1024];
38     kcxllogrec logrec;
39     struct   tm *jikan;
40     /* 2008 年 11 月のファイル */
41     strcpy( filename, "./sys_ope0811.log" );
42     strcpy( filename, "/home/karacrix/karacrix500B/usr/log/sys_ope0811.log" );
43     if( fd = open( filename, O_RDONLY, 0444 )) >= 0 ){
44         while( read( fd, (void *)&logrec, sizeof( kcxllogrec )) > 0 ){
45             ttime = logrec.h.tmsec + logrec.h.tmadjsec;
46             jikan = localtime( &ttime );
47             for(i=0;i<(16);i++){
48                 objidname[i] = logrec.h.objidname[i];
49             }
50             objidname[i] = (char)0;
51             printf( "objid 名 = %s\n", objidname );
52             printf( "記録時間: yy=%d mm=%d dd=%d hh=%d mi=%d ss=%d\n",
53                 jikan->tm_year+1900, jikan->tm_mon+1, jikan->tm_mday,
54                 jikan->tm_hour, jikan->tm_min, jikan->tm_sec );
55             printf( "属性: ope=%d priority=%d key=%d stat=%d\n",
56                 logrec.operator, logrec.priority, logrec.key, logrec.status );
57             for(i=0;i<(10);i++){
58                 printf( "data(%d)= %x", i, 0xff & logrec.opt.u[i].c[0] );
59                 for(j=1;j<(8);j++){
60                     printf( " %x", 0xff & logrec.opt.u[i].c[j] );
61                 }
62                 printf( "\n" );
63             }
64         }
65         close( fd );
66     }
67 }

```

24.8 警報履歴ファイルのフォーマット

アプリケーション制御プログラムから警報履歴生成関数(kcxobj_alm_log_10wt 関数)を使用すると、ポイントオブジェクト等の警報履歴が(バイナリファイルとして)以下のディレクトリに生成されます。

\$KARACRIX/usr/log

●ファイル名

ファイル名の生成ルールは、以下のようになっています。

sys_almYYMM.log

YY: 西暦年の下 2 桁 (00~99)

MM: 月 (01~12)

●ファイルのフォーマット

警報履歴ファイルのフレームフォーマットは、操作履歴ファイルと同じフレームフォーマットになっていますので、「本章 24.7」を参照して下さい。

(1) フレームヘッダ部 (1~32 バイト目)

操作履歴ファイルと同じフレームフォーマットです。

(2) フレームデータ部 (33~128 バイト目)

操作履歴ファイルと同じフレームフォーマットです。データの内容が異なる部分を以下に示します。

②Priority データ部 (unsigned short 型)

37-38 バイト目の 2byte 内に、警報履歴レベル値 (0~3) が格納されています。

●警報履歴データの格納形式

警報履歴データは、制御プログラムから警報履歴生成関数(kcxobj_alm_log_10wt 関数)が呼び出されたタイミングで、以下のように順番に 1 履歴 1 フレームとして警報履歴ファイルに保存されます。

表 24.8.1 警報履歴ファイル保存形式

履歴フレーム(128byte)
履歴フレーム(128byte)
履歴フレーム(128byte)
履歴フレーム(128byte)

○警報履歴ファイル手動読み出しサンプルプログラム (リトルエンディアン CPU(x86 系)環境用の場合)

```
1 #include <stdio.h>
2 #include <stdint.h>
3 #include <string.h>
4 #include <fcntl.h>
5 #include <time.h>
6 typedef struct {
7     unsigned char  flag0;
8     unsigned char  flag1;
9     short          unitcode;
10    short          etc;
11    short          tmadjsec;
12    long long      tmsec;
13    char           objidname[16];
14 } kcxllogrec;
15 typedef struct {
16     kcxllogrec     h;
17     int32_t        operator;
18     unsigned short priority;
19     unsigned short attribute;
20     unsigned short key;
21     unsigned short mask;
22     unsigned short status;
23     unsigned short rsv;
24     union {
25         union {
26             char      c[8];
27             int32_t    i;
28             long long  l;
29             double     f;
30         } u[10];
31     } opt;
32 } kcxllogrec;
33 main(){
34     int      i, j, fd;
35     time_t   ttime;
36     char     objidname[17];
37     char     filename [1024];
38     kcxllogrec logrec;
39     struct   tm *jikan;
40     /* 2008 年 11 月のファイル */
41     strcpy( filename, "./sys_alm0811.log" );
42     strcpy( filename, "/home/karacrix/karacrix500B/usr/log/sys_alm0811.log" );
43     if( fd = open( filename, O_RDONLY, 0444 )) >= 0 ){
44         while( read( fd, (void *)&logrec, sizeof( kcxllogrec )) > 0 ){
45             ttime = logrec.h.tmsec + logrec.h.tmadjsec;
46             jikan = localtime( &ttime );
47             for(i=0;i<(16);i++){
48                 objidname[i] = logrec.h.objidname[i];
49             }
50             objidname[i] = (char)0;
51             printf( "objid 名 = %s¥n", objidname );
52             printf( "記録時間: yy=%d mm=%d dd=%d hh=%d mi=%d ss=%d¥n",
53                 jikan->tm_year+1900, jikan->tm_mon+1, jikan->tm_mday,
54                 jikan->tm_hour, jikan->tm_min, jikan->tm_sec );
55             printf( "属性: ope=%d priority=%d key=%d stat=%d¥n",
56                 logrec.operator, logrec.priority, logrec.key, logrec.status );
57             for(i=0;i<(10);i++){
58                 printf( "data(%d)= %x", i, 0xff & logrec.opt.u[i].c[0] );
59                 for(j=1;j<(8);j++){
60                     printf( " %x", 0xff & logrec.opt.u[i].c[j] );
61                 }
62                 printf( "¥n" );
63             }
64         }
65         close( fd );
66     }
67 }
```


資料

資料1 KaracrixBuilder システムコンフィギュレーションファイル (syscnf.env)

\$KARACRIX/usr/env/syscnf.env

```

#!/v3.0 Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.
#<< KARACRIX 環境データ >>
#
emailrmtctlperm,          on          ←Web、E メールからアクセスをさせないなら“off”
httpconnectlimitsec,     86400      ←1Web ログイン継続許可時間、0 値は無限大
externalsrcpath,         "/tmp"     ←インポート/エクスポートするディレクトリ※1
copyrightdpysec,         3          ←ライセンスウィンドウ表示の時間(0～秒)
#
dload_csv_contenttype,   kcxc_image/csv ←CSV ダウンロード MIME ヘッダの contenttype
dload_csv_fileattbutt,   ttx        ←CSV ダウンロード MIME ヘッダの属性文字
dload_pdf_contenttype,   image/pdf  ←PDF ダウンロード MIME ヘッダの contenttype
dload_pdf_fileattbutt,   pdf        ←PDF ダウンロード MIME ヘッダの属性文字
#
sysobjid_sys,            ".sys"     ←KaracrixBuilder 内部使用、システムの OBJID
sysobjid_buzzer,         ".bz"     ←メニュー画面使用、ブザーボタンの OBJID
sysobjid_almchk,         ".almchk"  ←メニュー画面使用、確認ボタンの OBJID
sysobjid_hold,           ".hold"    ←メニュー画面使用、ホールドボタンの OBJID
sysopelog_boot_key,      10        ←システム履歴書式の Ev_KEY 番号(システム起動メッセージ)
sysopelog_boot_stat,     1         ←システム履歴書式の Ev_STAT 番号(システム起動メッセージ)
sysopelog_reboot_key,    10        ←システム履歴書式の Ev_KEY 番号(システム再起動メッセージ)
sysopelog_reboot_stat,   2         ←システム履歴書式の Ev_STAT 番号(システム再起動メッセージ)
sysopelog_end_key,       10        ←システム履歴書式の Ev_KEY 番号(システム停止メッセージ)
sysopelog_end_stat,      0         ←システム履歴書式の Ev_STAT 番号(システム停止メッセージ)
sysopelog_poperr_key,    210       ←システム履歴書式の Ev_KEY 番号(POP エラーメッセージ)
sysopelog_poperr_stat,   1         ←システム履歴書式の Ev_STAT 番号(POP エラーメッセージ)
sysopelog_smtper_key,    211       ←システム履歴書式の Ev_KEY 番号(SMTP エラーメッセージ)
sysopelog_smtper_stat,   1         ←システム履歴書式の Ev_STAT 番号(SMTP エラーメッセージ)
#
vcapturespeedopt,       ""         ←固定
xidefldlgwintype,       viewset    ←未使用(旧バージョン)
keitaiimgwidth,         88        ←未使用(旧バージョン)
keitaiimgheight,        72        ←未使用(旧バージョン)
keitaiimgformat,        gif        ←未使用(旧バージョン)
#
bootclean,               on         ←起動時に印刷スプールのクリアをしないなら“off”
ximserver,               on         ←日本語入力をしない(XIM サーバなし)なら“off”
xbstorewarnmesg,        on         ←X バックスタアエラーメッセージを表示させないなら“off”
entrytext,               key        ←固定
menuwinmappt,           auto       ←CRT 解像度自動認識画面シフト(auto,same,shift)
cadeditperm,            on         ←CAD 編集をさせないなら“off”
prgeditperm,            on         ←プログラム編集をさせないなら“off”
alarmbeep,              on         ←X11 アラーム音許可
videoimgrec,            on         ←ビデオキャプチャ読み込み実行許可
vrecordspeed,           sec        ←ビデオキャプチャ取り込み速度(sec,msec)
webjpg_static_quality,   75        ←Web 静的画像(JPEG)クオリティ(1～100)
webjpg_dynamic_quality, 55         ←Web 動的画像(JPEG)クオリティ(1～100)
webimg_cam_defwidth,    640       ←Web カメラ動画画像ドット幅(160,320,640)
webimg_cam_defheight,   480       ←Web カメラ動画画像ドット高さ(120,240,480)
emailrcvtype,           pop        ←E メール受信プロトコル
emailrcvunitsec,        60        ←E メール受信間隔時間単位秒数
keitaiimg2colors,       32        ←GIF 携帯画像色数
hardcopycolor,          color      ←ハードコピー色モード(color,gray4,gray8)
printerdpi,             300       ←プリンタ DPI
fontimgdotsz,           256       ←アウトラインフォント最大展開ドット
kcxcenvfilepath,        "/tmp"     ←固定
webhtdocspace,         ""         ←固定

```

vflibName,	"kcxVFlibd0a"	←固定
vflibpath,	"open/kcxsvr/bin/"	←固定
vflibwait,	0	←固定
#		
cannadicfile,	"/usr/lib/canna/dic/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
cannadicfile,	"/var/lib/canna/dic/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
cannadicfile,	"/usr/local/canna/lib/dic/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
cannadicfile,	"/usr/local/share/canna/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
cannadicfile,	"/usr/local/lib/dic/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
cannadicfile,	"/usr/share/canna/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
cannadicfile,	"/tmp/default.cbp"	←CANNNA 辞書パス
#		
uprocnd_date,	"/bin/date"	←date コマンドパス
uprocnd_shutdown,	"/sbin/shutdown -h now"	←shutdown コマンドパス
uprocnd_reboot,	"/sbin/shutdown -r now"	←shutdown コマンドパス
uprocnd_ifconfig,	"/sbin/ifconfig"	←ifconfig コマンドパス
uprocnd_convert,	"/usr/bin/convert"	←convert コマンドパス
uprocnd_mail,	"/usr/sbin/sendmail"	←sendmail コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/bin/ps2pdf16 -dNOKANJI"	←ps2pdf16 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/bin/ps2pdf15 -dNOKANJI"	←ps2pdf15 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/bin/ps2pdf14 -dNOKANJI"	←ps2pdf14 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/bin/ps2pdf13 -dNOKANJI"	←ps2pdf13 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/bin/ps2pdf12 -dNOKANJI"	←ps2pdf12 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/bin/ps2pdf -dNOKANJI"	←ps2pdf コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/local/bin/ps2pdf16 -dNOKANJI"	←ps2pdf16 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/local/bin/ps2pdf15 -dNOKANJI"	←ps2pdf15 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/local/bin/ps2pdf14 -dNOKANJI"	←ps2pdf14 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/local/bin/ps2pdf13 -dNOKANJI"	←ps2pdf13 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/local/bin/ps2pdf12 -dNOKANJI"	←ps2pdf12 コマンドパス
uprocnd_ps2pdf,	"/usr/local/bin/ps2pdf -dNOKANJI"	←ps2pdf コマンドパス
#		
ccmacro,	"/usr/bin/cc", "cc", "-O2", "-D_KcxOsLINUX", "-D_KcxVsTpNRM0"	←cc パス、コンパイルオプション
mkmacro,	"/usr/bin/make", "make", "-f", "/tmp/makefile.kcx", "static"	←make パス、make オプション
cclibinc,	"-I/usr/X11R6/include", "-L/usr/X11R6/lib", "-lX11", "-lXpm", "-lm"	←リンカーオプション
#		
printprg,	KcxTBLtp_PRIIPRG_Message, master, "Msg0", "Msg0", "0", "1"	←固定
printprg,	KcxTBLtp_PRIIPRG_Report0, always, "Rep0", "Rep0", "1", "1"	←固定
printprg,	KcxTBLtp_PRIIPRG_Report1, always, "Rep1", "Rep1", "1", "1"	←固定
printprg,	KcxTBLtp_PRIIPRG_HardCopy, always, "Hdc0", "Hdc0", "1", "1"	←固定
printprg,	KcxTBLtp_PRIIPRG_PrgList, always, "Lst0", "Lst0", "1", "1"	←固定
#		

※1 “/”が先頭に付くとフルパス指定になり、“/”が無い場合、KaracrixBuilder のディレクトリからの相対パスになります。この場合、usr/ufile ディレクトリの指定を推奨します。

資料2 Linux&UnixOS 資源環境設定ファイル (sysunix.env)

\$KARACRIX/usr/env/sysunix.env

```

#lv3.0 Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.
#<< KARACRIX UNIX 環境データ >>
shmkey_env,                21100 ←共有メモリのキー番号
shmkey_ipc,                21200 "
shmkey_obj,                21300 "
shmkey_web,                21400 "
#
msgkey_opseventproc,      22100 ←セマフォのキー番号 (旧バージョン MESH 通信セマフォ切替)
msgkey_eventmkdproc,     22200 "
msgkey_eventactproc,     22300 "
msgkey_consmesgproc,     22400 "
semkey_consmesgmem,      23100 ←セマフォのキー番号
semkey_histeventmem,     23200 "
semkey_sendlstmem,       23300 "
semkey_sendfinalmem,     23400 "
semkey_sendpools_basemem, 23500 "
semkey_mtrendmem,        23600 "
semkey_itvlogfile,       23700 "
semkey_usershmem,        23800 "
semkey_httputcgibin,     23900 "
semkey_uniquerecnum,     24000 "
semkey_sedcgifile,       24100 "
semkey_objctlcmsg,       24200 "
semkey_objctletc01,      24300 "
semkey_objctletc02,      24400 "
semkey_objctletc03,      24500 "
#
ippport_sedmon_syseditor, 51001 ←ソケット通信のポート番号
ippport_sedmon_monitor,  51002 "
ippport_sedcad_syseditor, 51101 "
ippport_sedcad_cad,      51102 "
ippport_sedcpl_syseditor, 51201 "
ippport_sedcpl_compiler, 51202 "
ippport_sedcmd_syseditor, 51301 "
ippport_sedcmd_cmdserver, 51302 "
ippport_objprc_bootobjctl, 51401 "
ippport_objprc_sedobjctl, 51402 "
ippport_objprc_cadobjctl, 51403 "
ippport_objprc_schobjctl, 51404 "
ippport_objprc_procctlr, 51405 "
ippport_objprc_emailobjctl, 51406 "
ippport_emailsv_toemailctld, 51501 "
ippport_pri_printer,    51601 "
ippport_pri_ops,        51701 "
ippport_snd_opsbos,     51801 "
ippport_snd_opsbom,     51802 "
ippport_snd_iosnd,      51803 "
ippport_kcxchkalive,    51901 "
ippport_monfsv_kcx,     52001 "
ippport_monfsv_vflib,   52002 "
ippport_sedfsv_kcx,     52101 "
ippport_sedfsv_vflib,   52102 "
ippport_cadfsv_kcx,     52201 "
ippport_cadfsv_vflib,   52202 "
ippport_fontserver_kcx, 52301 "
ippport_fontserver_vflib, 52302 "
ippport_sedback_syseditor, 52401 "
ippport_sedback_backup, 52402 "
ippport_monwebfsv_kcx,  52501 "
ippport_monwebfsv_vflib, 52502 "
ippport_sedwebfsv_kcx,  52601 "
ippport_sedwebfsv_vflib, 52602 "
#

```

※上記データはリソースの競合が無い限り変更しないでください。(動作の保証がなくなる場合があります)

※他のアプリケーションと上記のキー番号あるいはポート番号が競合している場合に変更します。

※カメラ画像イメージを使用する場合、排他制御用に上記セマフォキー以外に 30000～31500 番も使用します。

資料3 デジタル文字テーブルファイル (kcxttext_stat_binary.tbl)

\$KARACRIX/sys/stbl/kcxttext_stat_binary.tbl

```
#Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.
#<< KARACRIX バイナリーステータス文字列データ(MAX=255) >>
# idcode(i),type(i),"dpysname(c)","dpylname(c)"
# obj,"off_sname(nrm)(c)","off_lname(nrm)(c)","on_sname(alm)(c)","on_lname(alm)(c)"
# btn,"off_sname(nrm)(c)","off_lname(nrm)(c)","on_sname(alm)(c)","on_lname(alm)(c)"
# end
#
0,0, "ON/OFF", "ON/OFF<3>"
obj, "OFF", "OFF", "ON", "ON"
btn, "OFF", "", "ON", ""
end
1,0, "ALM/-", "ALM/-<3> (List)"
obj, "-", "-", "ALM", "ALM"
btn, "-", "", "ALM", ""
end
2,0, "ALM/off", "ALM/off<3> (Mon[Stat+Alm])"
obj, "off", "off", "ALM", "ALM"
btn, "off", "", "ALM", ""
end
3,0, "ALM/NRM", "ALM/NRM<3> (Mon[AlmOnly])"
obj, "NRM", "NRM", "ALM", "ALM"
btn, "NRM", "", "ALM", ""
end
5,0, "ON/OFF", "ON/OFF<4>"
obj, "OFF", "OFF", "ON", "ON"
btn, "OFF", "", "ON", ""
end
6,0, "警報/-", "警報/-<4> (List)"
obj, "-", "-", "警報", "警報"
btn, "-", "", "警報", ""
end
7,0, "警報/off", "警報/off<4> (Mon[Stat+Alm])"
obj, "off", "off", "警報", "警報"
btn, "off", "", "警報", ""
end
8,0, "警報/正常", "警報/正常<4> (Mon[AlmOnly])"
obj, "正常", "正常", "警報", "警報"
btn, "正常", "", "警報", ""
end
10,0, "RUN/STOP", "RUN/STOP<4>"
obj, "STOP", "STOP", "RUN", "RUN"
btn, "STOP", "", "RUN", ""
end
11,0, "起動/停止", "起動/停止<4>"
obj, "停止", "停止", "起動", "起動"
btn, "停止", "", "起動", ""
end
12,0, "運転/停止", "運転/停止<4>"
obj, "停止", "停止", "運転", "運転"
btn, "停止", "", "運転", ""
end
13,0, "実行/停止", "実行/停止<4>"
obj, "停止", "停止", "実行", "実行"
btn, "停止", "", "実行", ""
end
14,0, "自動/手動", "自動/手動<4>"
obj, "自動", "自動", "手動", "手動"
btn, "自動", "", "手動", ""
end
```

20,0,"許可/禁止","許可/禁止<4>"	obj,"禁止", "禁止",	"許可",	"許可"
	btn,"禁止", "",	"許可",	""
	end		
21,0,"開/閉","開/閉<2>"	obj,"閉", "閉",	"開",	"開"
	btn,"閉", "",	"開",	""
	end		
22,0,"有/無","有/無<2>"	obj,"無", "無",	"有",	"有"
	btn,"無", "",	"有",	""
	end		
100,0,"NRM/ALM","NRM/ALM<3>"	obj,"NRM", "NRM",	"ALM",	"ALM"
	btn,"NRM", "",	"ALM",	""
	end		
101,0,"正常/警報","正常/警報<4>"	obj,"正常", "正常",	"警報",	"警報"
	btn,"正常", "",	"警報",	""
	end		
102,0,"正常/異常","正常/異常<4>"	obj,"正常", "正常",	"異常",	"異常"
	btn,"正常", "",	"異常",	""
	end		
103,0,"正常/満水","正常/満水<4>"	obj,"正常", "正常",	"満水",	"満水"
	btn,"正常", "",	"満水",	""
	end		
104,0,"正常/減水","正常/減水<4>"	obj,"正常", "正常",	"減水",	"減水"
	btn,"正常", "",	"減水",	""
	end		
	#		

デジタル文字を追加することができます。

デジタル文字のデータセットのフォーマットは、以下の通りです。

```
idcode, 0, <DPY-S>, <DPY-L>
  obj, <OFF-TEXT-S>, <OFF-TEXT-L>, <ON-TEXT-S>, <ON-TEXT-L>
  btn, <OFF-TEXT-S>, <OFF-TEXT-L>, <ON-TEXT-S>, <ON-TEXT-L>
end
```

idcode： データセットの通し番号で正確に振らねばなりません。空いたりずれてはいけません。

<DPY-S>： データセットを選択する一覧画面に表示する項目名です。狭い表示部に使用します。

<DPY-L>： データセットを選択する一覧画面に表示する項目名です。広い表示部に使用します。

<OFF-TEXT-S>： OFF 時に表示する文字列です。<OFF-TEXT-L>も同じにしてください。

<ON-TEXT-S>： ON 時に表示する文字列です。<ON-TEXT-L>も同じにしてください。

※<OFF-TEXT-?><ON-TEXT-?>をオブジェクト状態を表す obj の右部に記述します。btn は将来予約のもので現在使われていませんが、obj と同じものを設定しておいてください。

資料4 オペレータコードテーブルファイル (kcxname_operator.tbl)

\$KARACRIX/sys/stbl/kcxname_operator.tbl

```
#Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.
#<< KARACRIX オペレータデータ >>
# idcode(i),"dpysname(c)","dpylname(c)","etcname(c)"
#
0,      "初期",          "初期",          "初期"
1,      "システム",     "システム",     "システム"
2,      "スケジュール", "スケジュール", "スケジュール"
3,      "リモート",     "リモート",     "リモート"
4,      "手動",         "手動",         "手動"
5,      "プログラム",   "プログラム",   "プログラム"
#
```

資料5 システムポイントオブジェクト登録ファイル (sys_S_obj_system.edt)

```
$KARACRIX/usr/sdx/sys_S_obj_system.edt
```

<pre>#!v3.0 Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved. # no(i),perm(i),objidname[[8]](c),objidcore(i), # objtypename(c),objsubname(c),objname(c) # no(i),perm(i),objitemname(c),valtype[ifc](c),val(if" c") # end # 0,1,".sys",1,KcxOBJtp_SYSTEM_SysStd,"","System" 0,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,1 1,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,".system" end 1,1,".sys2",2,KcxOBJtp_SYSTEM_SysStd,"","System2" 0,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,1 1,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,".system2" end 2,1,".mesg0P",3,KcxOBJtp_PRINTER_UsrStd,"","mesg0P" 0,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_AlmListCnvCode,i,0 1,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_Format,c,"escp" 2,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_PauseAnsSec,i,5 3,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_SpoolDirName,c,"0" 4,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_SpoolCleanSec,i,1800 5,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_SpoolCleanMByte,i,4 6,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_Protocol,c,"rs232c" 7,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt0,c,"/dev/tty00" 8,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt1,c,"9600" 9,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt2,c,"8" 10,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt3,c,"e" 11,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt4,c,"1" 12,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt5,c,"" 13,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt6,c,"" 14,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt7,c,"" end 3,1,".ps0P",4,KcxOBJtp_PRINTER_UsrStd,"","ps0P" 0,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_AlmListCnvCode,i,0 1,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_Format,c,"ps" 2,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_PauseAnsSec,i,5 3,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_SpoolDirName,c,"1" 4,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_SpoolCleanSec,i,3600 5,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_SpoolCleanMByte,i,-1 6,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_Protocol,c,"unix" 7,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt0,c,"/usr/bin/lpr" 8,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt1,c,"lpr" 9,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt2,c,"-Plp" 10,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt3,c,"" 11,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt4,c,"" 12,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt5,c,"" 13,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt6,c,"" 14,1,KcxTBLtp_OBJPRINTER_ProtocolOpt7,c,"" end 4,1,".pcadP",5,KcxOBJtp_PRIPRG_SysStd,"","pcadP" 0,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_AlmListCnvCode,i,0 1,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_CompileLang,i,0 2,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_QueueingSeqOutPut,i,1 3,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_MyIpPortAddr0,i,55000 4,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_MyIpPortAddr1,i,55001 end 5,1,".mcardP",6,KcxOBJtp_PRIPRG_SysStd,"","mcardP" 0,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_AlmListCnvCode,i,0 1,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_CompileLang,i,0 2,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_QueueingSeqOutPut,i,1 3,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_MyIpPortAddr0,i,55003 4,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_MyIpPortAddr1,i,55004 end 6,1,".listP",7,KcxOBJtp_PRIPRG_SysStd,"","listP" 0,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_AlmListCnvCode,i,0 1,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_CompileLang,i,0 2,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_QueueingSeqOutPut,i,1 3,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_MyIpPortAddr0,i,55006 4,1,KcxTBLtp_OBJPROGRAM_MyIpPortAddr1,i,55007 end 7,1,".bzperm",8,KcxOBJtp_SYSPONT_iAI,"","SystemBzPerm" 0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0 1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8d" 2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0</pre>	
←システムポイントオブジェクト	
←システム 2 ポイントオブジェクト	
←システムプリンターオブジェクト	
←システムプリンターオブジェクト	
←lpr コマンドのパスを指定します	
←lpr コマンド名で固定です	
←printcap のエントリを指定します	
←lpr のオプションを指定します	
←システムプリンタープログラムオブジェクト	
←システムプリンタープログラムオブジェクト	
←システムプリンタープログラムオブジェクト	
←システム整数ポイント(ブザー許可)オブジェクト	

```

3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
end
8,1,".bz",9,KcxOBJtp_SYSPPOINT_iAI,"","SystemBzStatus" ←システム整数ポイント(ブザー状態)オブジェクト
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8d"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
end
9,1,".bztype",10,KcxOBJtp_SYSPPOINT_iAI,"","SystemBzLevelType" ←システム整数ポイント(ブザータイプ)オブジェクト
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8d"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
end
10,1,".almchk",11,KcxOBJtp_SYSPPOINT_iAI,"","AlarmCheckStamp" ←システム整数ポイント(チェック・ボタン)オブジェクト
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8d"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
end
11,1,".hold",12,KcxOBJtp_SYSPPOINT_iAI,"","EtcButtonHold" ←システム整数ポイント(ホールド・ボタン)オブジェクト
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8d"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
end
#

```

※システムポイントオブジェクトは、全部で19点まで記述可能です。弊社にお問い合わせの上、修正してください。

資料6 ポイントオブジェクト登録ファイル (sys_S_obj_point.edt)

ポイントオブジェクトの属性設定値(DI,DO,PI,AI,AO,IMG 種別)例を抜粋して示します。各属性項目の名称は、「資料7 ポイント属性項目名称テーブルファイル」も参照して下さい。

\$KARACRIX/usr/sdx/sys_S_obj_point.edt

```

#lv3.0 Copyright (c) 1996-2008 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.
# no(i),perm(i),objidname[8](c),objidcore(i),
#                               objtypename(c),objsubname(c),objname(c)
# no(i),perm(i),objitemname(c),valtype[16](c),val[if" c")
# end
#
0,1,"di001",65,KcxOBJtp_POINT_DI,"T-di001","N-di001"
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_StatCnvCode,i,0 ← 状態文字
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode,i,1 ← 警報文字(履歴用)
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmMonCnvCode,i,2 ← 警報文字(監視画面用)
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlarmPoint,i,1 ← 通常点警報点定義
4,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,i,0 ← グループ 1 所属キー
5,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,i,0 ← グループ 2 所属キー
6,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,i,0 ← 入力系ダイアログ画面選択
7,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,i,10
8,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,i,1 ← Web 一覧許可
9,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,1 ← 携帯一覧許可
10,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogPerm,i,0 ← 状態変化記録許可(通常点時)
11,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogLevel,i,0 ← 状態履歴タイプ
12,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,0 ← 警報発生許可フラグ
13,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable,i,0 ← ロック操作
14,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType,i,0
15,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmOnLogicVal,i,1 ← 警報値(警報判断値)
16,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,"switch" ← 履歴書式変換テーブル ID 名
17,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventKey,i,0 ← Ev_KEY
18,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventStat,i,0 ← Ev_STAT
19,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,i,0 ← タイプ&レベル
20,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,i,1 ← 警報メール許可
21,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,i,0 ← 警報メールアドレス格納属性番号
22,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,i,0 ← 警報メールメッセージ格納属性番号
23,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventCtlCode,i,0 ← 警報制御コマンドコード
24,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,i,0
25,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,i,0
26,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,i,0
27,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,i,0
28,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,i,0
29,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,i,0
30,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,i,0
31,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,i,0
32,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,f,0.0
33,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,f,0.0
34,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,f,0.0
35,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,f,0.0
36,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,f,0.0
37,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,f,0.0
38,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,f,0.0
39,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,f,0.0
40,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,c,""
41,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,c,""
42,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,c,""
43,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,c,""

200,1,"do001",265,KcxOBJtp_POINT_DO,"T-do001","N-do001"
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_StatCnvCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode,i,1
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmMonCnvCode,i,2
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlarmPoint,i,0
4,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,i,0
5,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,i,0
6,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,i,0
7,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,i,10
8,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,i,1
9,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,1
10,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogPerm,i,1
11,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogLevel,i,1
12,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,0
13,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable,i,0
14,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType,i,0
15,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmOnLogicVal,i,1
16,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,"switch"
17,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventKey,i,1
18,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventStat,i,0
    
```

```

19,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,i,0
20,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,i,0

21,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,i,0
22,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,i,0
23,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventCtlCode,i,0
24,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtectSec,i,0
25,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,i,0
26,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,i,0
27,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,i,0
28,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,i,0
29,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,i,0
30,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,i,0
31,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,i,0
32,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,i,0
33,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,f,0.0
34,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,f,0.0
35,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,f,0.0
36,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,f,0.0
37,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,f,0.0
38,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,f,0.0
39,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,f,0.0
40,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,f,0.0
41,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,c,""
42,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,c,""
43,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,c,""
44,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,c,""
end

266,1,"pi001",331,KcxObjtp_POINT_PL,"T-pi001","N-pi001"
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%6d"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
3,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,i,0
4,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,i,0
5,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,i,0
6,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,i,10
7,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,i,1
8,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,1
9,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
10,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
11,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_IfcHiRangeFltVal,f,100.0
12,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_IfcLowRangeFltVal,f,0.0
13,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxCounterIntVal,i,999999
14,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxValueFltVal,f,0.0
15,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmCntMulRateIntVal,i,10000
16,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmValMulRateFltVal,f,1.0
17,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,0
18,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable,i,0
19,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType,i,0
20,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,"analog"
21,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,i,0
22,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,i,1
23,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,i,0
24,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,i,0
25,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitEnable,i,0
26,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitPerm,i,0
27,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysH_FltVal,f,92.0
28,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimDisp_FltVal,f,90.0
29,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysL_FltVal,f,88.0
30,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventKey,i,33
31,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventStat,i,0
32,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventPerm,i,0
33,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailTo,i,0
34,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailMsg,i,0
35,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventCtlCode,i,0
36,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitEnable,i,0
37,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitPerm,i,0
38,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysH_FltVal,f,82.0
39,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimDisp_FltVal,f,80.0
40,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysL_FltVal,f,78.0
41,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventKey,i,32
42,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventStat,i,0
43,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventPerm,i,0
44,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailTo,i,0
45,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailMsg,i,0
46,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventCtlCode,i,0
47,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitEnable,i,0
48,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitPerm,i,0
49,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysH_FltVal,f,72.0
50,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimDisp_FltVal,f,70.0
51,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysL_FltVal,f,68.0
52,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventKey,i,31

```

```

53,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventStat,i,0

54,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventPerm,i,0
55,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailTo,i,0
56,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailMsg,i,0
57,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventCtlCode,i,0
58,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitEnable,i,0
59,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitPerm,i,0
60,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysL_FltVal,f,32.0
61,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimDisp_FltVal,f,30.0
62,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysH_FltVal,f,28.0
63,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventKey,i,21
64,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventStat,i,0
65,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventPerm,i,0
66,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailTo,i,0
67,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailMsg,i,0
68,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventCtlCode,i,0
69,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitEnable,i,0
70,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitPerm,i,0
71,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysL_FltVal,f,22.0
72,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimDisp_FltVal,f,20.0
73,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysH_FltVal,f,18.0
74,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventKey,i,22
75,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventStat,i,0
76,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventPerm,i,0
77,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailTo,i,0
78,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailMsg,i,0
79,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventCtlCode,i,0
80,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitEnable,i,0
81,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitPerm,i,0
82,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysL_FltVal,f,12.0
83,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimDisp_FltVal,f,10.0
84,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysH_FltVal,f,8.0
85,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventKey,i,23
86,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventStat,i,0
87,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventPerm,i,0
88,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailTo,i,0
89,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailMsg,i,0
90,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventCtlCode,i,0
91,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,i,0
92,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,i,0
93,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,i,0
94,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,i,0
95,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,i,0
96,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,i,0
97,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,i,0
98,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,i,0
99,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,f,0.0
100,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,f,0.0
101,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,f,0.0
102,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,f,0.0
103,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,f,0.0
104,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,f,0.0
105,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,f,0.0
106,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,f,0.0
107,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,c,""
108,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,c,""
109,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,c,""
110,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,c,""
end

366,1,"ai001",431,KcxOBJtp_POINT_AI,"T-ai001","N-ai001"
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8.2f"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
3,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,i,0
4,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,i,0
5,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,i,0
6,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,i,10
7,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,i,1
8,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,1
9,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
10,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
11,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_lfcHiRangeFltVal,f,250.0
12,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_lfcLowRangeFltVal,f,0.0
13,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxCounterIntVal,i,999999
14,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxValueFltVal,f,0.0
15,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmCntMulRateIntVal,i,10000
16,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmValMulRateFltVal,f,1.0
17,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,1
18,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable,i,0
19,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType,i,0

```

20,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,"analog"

21,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,i,0
 22,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,i,1
 23,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,i,0
 24,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,i,0
 25,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitEnable,i,1
 26,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitPerm,i,1
 27,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysH_FltVal,f,92.0
 28,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimDisp_FltVal,f,90.0
 29,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysL_FltVal,f,88.0
 30,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventKey,i,33
 31,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventStat,i,0
 32,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventPerm,i,1
 33,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailTo,i,0
 34,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailMsg,i,0
 35,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventCtlCode,i,0
 36,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitEnable,i,0
 37,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitPerm,i,0
 38,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysH_FltVal,f,82.0
 39,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimDisp_FltVal,f,80.0
 40,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysL_FltVal,f,78.0
 41,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventKey,i,32
 42,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventStat,i,0
 43,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventPerm,i,1
 44,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailTo,i,0
 45,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailMsg,i,0
 46,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventCtlCode,i,0
 47,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitEnable,i,1
 48,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitPerm,i,0
 49,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysH_FltVal,f,72.0
 50,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimDisp_FltVal,f,70.0
 51,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysL_FltVal,f,68.0
 52,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventKey,i,31
 53,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventStat,i,0
 54,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventPerm,i,1
 55,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailTo,i,0
 56,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailMsg,i,0
 57,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventCtlCode,i,0
 58,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitEnable,i,1
 59,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitPerm,i,0
 60,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysL_FltVal,f,32.0
 61,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimDisp_FltVal,f,30.0
 62,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysH_FltVal,f,28.0
 63,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventKey,i,21
 64,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventStat,i,0
 65,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventPerm,i,1
 66,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailTo,i,0
 67,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailMsg,i,0
 68,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventCtlCode,i,0
 69,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitEnable,i,1
 70,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitPerm,i,0
 71,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysL_FltVal,f,22.0
 72,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimDisp_FltVal,f,20.0
 73,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysH_FltVal,f,18.0
 74,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventKey,i,22
 75,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventStat,i,0
 76,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventPerm,i,1
 77,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailTo,i,0
 78,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailMsg,i,0
 79,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventCtlCode,i,0
 80,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitEnable,i,1
 81,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitPerm,i,1
 82,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysL_FltVal,f,12.0
 83,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimDisp_FltVal,f,10.0
 84,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysH_FltVal,f,8.0
 85,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventKey,i,23
 86,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventStat,i,0
 87,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventPerm,i,1
 88,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailTo,i,0
 89,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailMsg,i,0
 90,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventCtlCode,i,0
 91,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,i,0
 92,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,i,0
 93,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,i,0
 94,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,i,0
 95,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,i,0
 96,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,i,0
 97,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,i,0
 98,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,i,0
 99,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,f,0.0
 100,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,f,0.0

```
101,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,f,0.0

102,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,f,0.0
103,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,f,0.0
104,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,f,0.0
105,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,f,0.0
106,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,f,0.0
107,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,c,""
108,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,c,""
109,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,c,""
110,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,c,""
end

486,1,"ao001",551,KcxOBJtp_POINT_AO,"T-ao001","N-ao001"
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,c,"%8.2f"
2,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,i,0
3,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,i,0
4,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,i,0
5,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,i,0
6,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,i,10
7,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,i,1
8,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,1
9,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogPerm,i,0
10,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogLevel,i,0
11,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,f,100.0
12,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,f,0.0
13,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SetHiRangeFltVal,f,95.0
14,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SetLowRangeFltVal,f,5.0
15,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_IfcHiRangeFltVal,f,100.0
16,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_IfcLowRangeFltVal,f,0.0
17,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,0
18,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable,i,0
19,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvIdName,c,"analog"
20,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,i,0
21,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,i,1
22,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,i,0
23,1,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,i,0
24,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitEnable,i,0
25,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitPerm,i,0
26,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysH_FltVal,f,92.0
27,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimDisp_FltVal,f,90.0
28,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysL_FltVal,f,88.0
29,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventKey,i,33
30,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventStat,i,0
31,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventPerm,i,0
32,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailTo,i,0
33,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailMsg,i,0
34,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventCtlCode,i,0
35,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitEnable,i,0
36,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitPerm,i,0
37,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysH_FltVal,f,82.0
38,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimDisp_FltVal,f,80.0
39,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysL_FltVal,f,78.0
40,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventKey,i,32
41,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventStat,i,0
42,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventPerm,i,0
43,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailTo,i,0
44,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailMsg,i,0
45,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventCtlCode,i,0
46,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitEnable,i,0
47,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitPerm,i,0
48,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysH_FltVal,f,72.0
49,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimDisp_FltVal,f,70.0
50,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysL_FltVal,f,68.0
51,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventKey,i,31
52,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventStat,i,0
53,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventPerm,i,0
54,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailTo,i,0
55,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailMsg,i,0
56,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventCtlCode,i,0
57,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitEnable,i,0
58,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitPerm,i,0
59,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysL_FltVal,f,32.0
60,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimDisp_FltVal,f,30.0
61,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysH_FltVal,f,28.0
62,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventKey,i,21
63,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventStat,i,0
64,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventPerm,i,0
65,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailTo,i,0
66,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailMsg,i,0
67,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventCtlCode,i,0
```

```

68,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitEnable,i,0
69,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitPerm,i,0
70,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysL_FltVal,f,22.0
71,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimDisp_FltVal,f,20.0
72,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysH_FltVal,f,18.0
73,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventKey,i,22
74,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventStat,i,0
75,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventPerm,i,0
76,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailTo,i,0
77,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailMsg,i,0
78,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventCtlCode,i,0
79,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitEnable,i,0
80,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitPerm,i,0
81,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysL_FltVal,f,12.0
82,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimDisp_FltVal,f,10.0
83,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysH_FltVal,f,8.0
84,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventKey,i,23
85,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventStat,i,0
86,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventPerm,i,0
87,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailTo,i,0
88,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailMsg,i,0
89,1,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventCtlCode,i,0
90,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtectSec,i,0
91,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,i,0
92,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,i,0
93,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,i,0
94,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,i,0
95,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,i,0
96,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,i,0
97,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,i,0
98,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,i,0
99,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,f,0.0
100,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,f,0.0
101,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,f,0.0
102,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,f,0.0
103,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,f,0.0
104,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,f,0.0
105,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,f,0.0
106,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,f,0.0
107,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,c,""
108,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,c,""
109,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,c,""
110,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,c,""
end

496,1,"img001",561,KcxOBJtp_POINT_IMG,"T-img001","N-img001"
0,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode,i,0
1,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,i,0
2,1,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,i,0
3,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,i,1
4,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,0
5,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_InputChanel,i,1
6,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DriverType,c,"bt848"
7,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgWidthDots,i,320
8,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgHeightDots,i,240
9,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ScreenBright,i,100
10,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ScreenContrast,i,100
11,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyJpgQuality,i,70
12,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgWebJpgQuality,i,70
13,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRecJpgQuality,i,70
14,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRdWtDpySemKey,i,30000
15,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRdWtWebSemKey,i,30001
16,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRdWtRecSemKey,i,30002
17,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutUDots,i,0
18,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutDDots,i,0
19,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutRDots,i,0
20,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutLDots,i,0
21,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileName,c,""
22,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFormatOpt,c,"ZPixmap"
23,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyFormat,c,"x11"
24,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgWebFormat,c,"jpg"
25,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileDpyExtnam,c,"raw"
26,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileWebExtnam,c,"jpg"
27,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DeviceName,c,"/dev/video0"
28,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_DeviceSpeed,i,0
29,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_NtscPalEtc,i,1
30,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ColorType,c,""
31,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ColorPlane,i,0
32,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileVByte,i,2
33,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileVRGBtp,i,565
34,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileBitPad,i,16
35,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_Protocol,c,""

```

```
36,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtocolOpt0,c,""  
37,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtocolOpt1,c,""  
38,1,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,i,1  
39,1,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,c,".system"  
40,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,i,0  
41,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,i,0  
42,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,i,0  
43,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,i,0  
44,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,i,0  
45,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,i,0  
46,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,i,0  
47,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,i,0  
48,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,f,0.0  
49,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,f,0.0  
50,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,f,0.0  
51,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,f,0.0  
52,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,f,0.0  
53,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,f,0.0  
54,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,f,0.0  
55,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,f,0.0  
56,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,c,"read(ioctl)"  
57,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,c,"正常動作"  
58,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,c,""  
59,1,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,c,""  
end
```

資料7 ポイント属性項目名称テーブルファイル (kcxitem_objmem.tbl)

本テーブルは、「ポイント属性(一時変更含む)設定」画面で属性項目の名称を表示する時に参照されます。

\$KARACRIX/sys/stbl/kcxitem_objmem.tbl

```
#Copyright (c) 2000-2005 S.I.Soubou,Inc. All rights reserved.
#<< KARACRIX オブジェクトメンバ >>
# objtypename(c)
# no(i),selectmode(c),objitemname(c),valtype(ffc)(c),defval(if" c"),"dpyname(c)","etcname(c)"
# end
# <画面メンバ表示の順番は本ファイルメンバの順番に従う>
# A. 定義ボタン(selectmode->54321) -> 基本(1) / 表示(2) / 警報(3) / その他(4) / 汎用(5)
# B. 定義モード(selectmode->0000N) -> 1[登録画面], 2[一時変更画面], 3[登録画面&一時変更画面]
#
KcxOBJtp_POINT_DI
1,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_StatCnvCode, i,0, "状態文字", "ON/OFFの状態を表現する文字組合せ"
2,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode, i,0, "警報文字(履歴用)", "警報の有無を表現する文字組合せ"
3,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmMonCnvCode, i,0, "警報文字(監視画面用)", "警報の有無を表現する文字組合せ"
4,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlarmPoint, i,0, "通常点警報点定義", "0=通常点 1以上=警報点 (制御プログラム依存)"
5,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPPATBUT_1stGroupKey, i,0, "グループ 1", "大分類表示"
6,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPPATBUT_2ndGroupKey, i,0, "グループ 2", "小分類表示"
7,00012,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType, i,0, "入力系ダイアログ画面選択", "取扱説明書参照: 0=環境依存 1=表示 2=表示+設定"
"
8,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel, i,10, "Web画面操作許可レベル", "予備"
9,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm, i,1, "Web画面表示", "Web(大)画面一覧に表示(親画面でも設定可)"
10,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,0, "携帯画面表示", "携帯(小)画面一覧に表示(親画面でも設定可)"
11,03000,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogPerm, i,0, "状態変化記録許可(通常点時)", "履歴への書込(制御プログラム依存)"
12,01000,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogLevel, i,0, "状態履歴タイプ", "3,2,1,0(制御プログラム依存)"
13,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_AlarmPerm, i,0, "警報発生許可", "警報発生の実行許可(制御プログラム依存)"
14,00120,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable, i,0, "ロック操作", "警報メール送信一時停止など(制御プログラム依存)"
15,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType, i,0, "日報処理関連", "帳票プログラム依存"
16,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_AlmOnLogicVal, i,0, "警報値", "警報判断用[通常1](制御プログラム依存)"
17,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_RecTextCnvldName, c,"switch", "履歴書式テーブル", "操作及び警報の履歴情報セットの選択"
18,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventKey, i,0, "履歴書式キー番号(Ev.KEY)", "操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
19,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventStat, i,0, "履歴書式選択 状態(Ev.STAT)", "履歴書式テーブルの書式選択に使用(どうした)"
"
20,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventLevel, i,0, "履歴警報レベル", "3=H 2=M 1=L 0=0(制御プログラム依存)"
21,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventPerm, i,0, "警報メール許可", "制御プログラム依存"
22,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventMailTo, i,0, "警報メール先(アドレス帳番号)", "制御プログラム依存"
23,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventMailMsg, i,0, "警報メール文(電文番号)", "制御プログラム依存"
24,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventCtlCode, i,0, "警報制御コマンドコード", "制御プログラム依存"
"
25,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val, i,0, "整数 属性 1", ""
26,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val, i,0, "整数 属性 2", ""
27,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val, i,0, "整数 属性 3", ""
28,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val, i,0, "整数 属性 4", ""
29,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val, i,0, "整数 属性 5", ""
30,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val, i,0, "整数 属性 6", ""
31,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val, i,0, "整数 属性 7", "[オブジェクト動的変更]画面非表示項目"
32,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val, i,0, "整数 属性 8", "[オブジェクト動的変更]画面非表示項目"
33,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val, f,0.0, "実数 属性 1", ""
34,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val, f,0.0, "実数 属性 2", ""
35,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val, f,0.0, "実数 属性 3", ""
36,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val, f,0.0, "実数 属性 4", ""
37,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val, f,0.0, "実数 属性 5", ""
38,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val, f,0.0, "実数 属性 6", ""
39,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val, f,0.0, "実数 属性 7", "[オブジェクト動的変更]画面非表示項目"
40,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val, f,0.0, "実数 属性 8", "[オブジェクト動的変更]画面非表示項目"
41,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val, c,"", "文字 属性 1", ""
42,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val, c,"", "文字 属性 2", ""
43,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val, c,"", "文字 属性 3", "[オブジェクト動的変更]画面非表示項目"
44,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val, c,"", "文字 属性 4", "[オブジェクト動的変更]画面非表示項目"
end
#
KcxOBJtp_POINT_DO
1,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_StatCnvCode, i,0, "状態文字", "ON/OFFの状態を表現する文字組合せ"
2,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmListCnvCode, i,0, "警報文字(履歴用)", "警報の有無を表現する文字組合せ"
3,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmMonCnvCode, i,0, "警報文字(監視画面用)", "警報の有無を表現する文字組合せ"
4,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlarmPoint, i,0, "通常点警報点定義", "0=通常点 1以上=警報点 (制御プログラム依存)"
5,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPPATBUT_1stGroupKey, i,0, "グループ 1", "大分類表示"
6,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPPATBUT_2ndGroupKey, i,0, "グループ 2", "小分類表示"
7,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType, i,0, "入力系ダイアログ画面選択", "取扱説明書参照: 0=環境依存 1=表示 2=表示+設定"
"
8,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel, i,10, "Web画面操作許可レベル", "予備"
9,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm, i,1, "Web画面表示", "Web(大)画面一覧に表示(親画面でも設定可)"
10,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,0, "携帯画面表示", "携帯(小)画面一覧に表示(親画面でも設定可)"
11,03000,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogPerm, i,0, "操作記録許可(通常点時)", "履歴への書込(制御プログラム依存)"
12,01000,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogLevel, i,0, "操作履歴タイプ", "3,2,1,0(制御プログラム依存)"
13,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_AlarmPerm, i,0, "警報発生許可", "警報発生の実行許可(制御プログラム依存)"
14,00120,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable, i,0, "ロック操作", "警報メール送信一時停止など(制御プログラム依存)"

```

15,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType, i,0,	"日報処理関連",	"帳票プログラム依存"
16,00100,KcxTBLtp_OBJPOINT_AlmOnLogicVal, i,0,	"警報値",	"警報判断用[通常1] (制御プログラム依存)"
17,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_RecTextCnvldName, c,"switch",	"履歴書式テーブル",	"操作及び警報の履歴情報セットの選択"
18,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventKey, i,0,	"履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
19,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventStat, i,0,	"履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
20,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventLevel, i,0,	"履歴警報レベル",	"3=H 2=M 1=L 0=0 (制御プログラム依存)"
21,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventPerm, i,0,	"警報メール許可",	"制御プログラム依存"
22,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventMailTo, i,0,	"警報メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
23,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventMailMsg, i,0,	"警報メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
24,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventCtlCode, i,0,	"警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
25,01000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtectSec, i,0,	"連続操作禁止時間(秒)",	"制御プログラム依存"
26,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val, i,0,	"整数 属性 1",	""
27,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val, i,0,	"整数 属性 2",	""
28,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val, i,0,	"整数 属性 3",	""
29,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val, i,0,	"整数 属性 4",	""
30,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val, i,0,	"整数 属性 5",	""
31,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val, i,0,	"整数 属性 6",	""
32,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val, i,0,	"整数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
33,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val, i,0,	"整数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
34,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val, f,0.0,	"実数 属性 1",	""
35,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val, f,0.0,	"実数 属性 2",	""
36,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val, f,0.0,	"実数 属性 3",	""
37,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val, f,0.0,	"実数 属性 4",	""
38,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val, f,0.0,	"実数 属性 5",	""
39,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val, f,0.0,	"実数 属性 6",	""
40,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val, f,0.0,	"実数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
41,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val, f,0.0,	"実数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
42,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val, c,"",	"文字 属性 1",	""
43,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val, c,"",	"文字 属性 2",	""
44,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val, c,"",	"文字 属性 3",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
45,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val, c,"",	"文字 属性 4",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
end		
#		
KcxOBJtp_POINT_PI		
1,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat, c,"%6d",	"表示フォーマット",	"画面各所の表示に利用される"
2,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode, i,0,	"単位",	"単位登録画面の登録から選択"
3,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey, i,0,	"グループ 1",	"大分類表示"
4,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey, i,0,	"グループ 2",	"小分類表示"
5,00010,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType, i,0,	"入力系ダイアログ画面選択",	"取扱説明書参照: 0=環境依存 1=表示 2=表示+設定"
6,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel, i,10,	"Web 画面操作許可レベル",	"予備"
7,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm, i,1,	"Web 画面表示",	"Web(大)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
8,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,0,	"携帯画面表示",	"携帯(小)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
9,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal, f,100.0,	"上限スケール値 (表示用)",	"(スケールに影響: 通常あまり使用しない)"
10,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal, f, 0.0,	"下限スケール値 (表示用)",	"(スケールに影響: 通常あまり使用しない)"
11,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_lfcHiRangeFltVal, f,105.0,	"上限スケール値 (通信用)",	"(未使用)"
12,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_lfcLowRangeFltVal, f, -5.0,	"下限スケール値 (通信用)",	"(未使用)"
13,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxCounterIntVal,i,999999,	"積算カウンタ上限値",	"積算カウンタとして使用時の周回山超え値"
14,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxValueFltVal, f,0.0,	"実数積算上限値",	"実数積算の上限値 (例: カウンターと連携使用)"
15,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmCntMulRateIntVal,i,10000,	"積算カウンタ乗率",	"積算カウンタ値の補正変換乗率 (10000 が 1 倍)"
16,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmValMulRateFltVal,f,1.0,	"実数積算乗率",	"実数積算値の補正変換乗率 (1.0 が 1 倍)"
17,00102,KcxTBLtp_OBJJALARM_AlarmPerm, i,0,	"警報発生許可(元)",	"警報発生の実行許可 (制御プログラム依存)"
18,00102,KcxTBLtp_OBJJALARM_LockEnable, i,0,	"ロック操作",	"警報メール送信一時停止など (制御プログラム依存)"
19,01002,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType, i,0,	"日報処理方法",	"帳票パラメータ参照 (帳票プログラム依存)"
20,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_RecTextCnvldName, c,"analog",	"履歴書式テーブル",	"操作及び警報の履歴情報セットの選択"
21,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventLevel, i,0,	"履歴警報レベル",	"上下限警報未使用時のデータ (制御プログラム依存)"
22,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventPerm, i,0,	"警報メール許可",	"制御プログラム依存"
23,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventMailTo, i,0,	"警報メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
24,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_EventMailMsg, i,0,	"警報メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
25,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_LimitEnable, i,0,	"H3(***) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
26,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_LimitPerm, i,0,	"H3 上限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
27,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_LimHysH_FltVal, f,92.0,	"H3 警報値 (不感帯上値=a)",	"警報判断用"
28,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_LimDisp_FltVal, f,90.0,	"H3 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
29,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_LimHysL_FltVal, f,88.0,	"H3 警報値 (不感帯下値=b:a>b)",	"警報判断用"
30,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_EventKey, i,0,	"H3 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
31,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_EventStat, i,0,	"H3 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
32,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_EventPerm, i,0,	"H3 メール許可",	"制御プログラム依存"
33,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_EventMailTo, i,0,	"H3 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
34,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_EventMailMsg, i,0,	"H3 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
35,00120,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi3_EventCtlCode, i,0,	"H3 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
36,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_LimitEnable, i,0,	"H2(**) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
37,00300,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_LimitPerm, i,0,	"H2 上限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
38,00300,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_LimHysH_FltVal, f,82.0,	"H2 警報値 (不感帯上値=a)",	"警報判断用"
39,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_LimDisp_FltVal, f,80.0,	"H2 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
40,00300,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_LimHysL_FltVal, f,78.0,	"H2 警報値 (不感帯下値=b:a>b)",	"警報判断用"
41,00100,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_EventKey, i,0,	"H2 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
42,00000,KcxTBLtp_OBJJALARM_Hi2_EventStat, i,0,	"H2 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"

43,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventPerm,	i,0,	"H2 メール許可",	"制御プログラム依存"
44,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailTo,	i,0,	"H2 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
45,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailMsg,	i,0,	"H2 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
46,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventCtlCode,	i,0,	"H2 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
47,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitEnable,	i,0,	"H1(*) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
48,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitPerm,	i,0,	"H1 上限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
49,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysH_FltVal,	f,72.0,	"H1 警報値 (不感帯上値=a)",	"警報判断用"
50,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimDisp_FltVal,	f,70.0,	"H1 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
51,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysL_FltVal,	f,68.0,	"H1 警報値 (不感帯下値=b:a>b)",	"警報判断用"
52,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventKey,	i,0,	"H1 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
53,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventStat,	i,0,	"H1 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
54,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventPerm,	i,0,	"H1 メール許可",	"制御プログラム依存"
55,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailTo,	i,0,	"H1 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
56,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailMsg,	i,0,	"H1 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
57,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventCtlCode,	i,0,	"H1 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
58,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitEnable,	i,0,	"L1(*) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
59,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitPerm,	i,0,	"L1 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
60,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysL_FltVal,	f,32.0,	"L1 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
61,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimDisp_FltVal,	f,30.0,	"L1 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
62,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysH_FltVal,	f,28.0,	"L1 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
63,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventKey,	i,0,	"L1 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
64,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventStat,	i,0,	"L1 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
65,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventPerm,	i,0,	"L1 メール許可",	"制御プログラム依存"
66,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailTo,	i,0,	"L1 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
67,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailMsg,	i,0,	"L1 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
68,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventCtlCode,	i,0,	"L1 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
69,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitEnable,	i,0,	"L2(**) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
70,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitPerm,	i,0,	"L2 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
71,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysL_FltVal,	f,22.0,	"L2 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
72,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimDisp_FltVal,	f,20.0,	"L2 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
73,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysH_FltVal,	f,18.0,	"L2 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
74,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventKey,	i,0,	"L2 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
75,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventStat,	i,0,	"L2 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
76,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventPerm,	i,0,	"L2 メール許可",	"制御プログラム依存"
77,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailTo,	i,0,	"L2 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
78,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailMsg,	i,0,	"L2 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
79,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventCtlCode,	i,0,	"L2 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
80,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitEnable,	i,0,	"L3(***) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
81,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitPerm,	i,0,	"L3 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
82,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysL_FltVal,	f,12.0,	"L3 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
83,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimDisp_FltVal,	f,10.0,	"L3 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
84,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysH_FltVal,	f,08.0,	"L3 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
85,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventKey,	i,0,	"L3 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
86,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventStat,	i,0,	"L3 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
87,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventPerm,	i,0,	"L3 メール許可",	"制御プログラム依存"
88,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailTo,	i,0,	"L3 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
89,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailMsg,	i,0,	"L3 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
90,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventCtlCode,	i,0,	"L3 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
91,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,	i,0,	"整数 属性 1",	""
92,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,	i,0,	"整数 属性 2",	""
93,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,	i,0,	"整数 属性 3",	""
94,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,	i,0,	"整数 属性 4",	""
95,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,	i,0,	"整数 属性 5",	""
96,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,	i,0,	"整数 属性 6",	""
97,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,	i,0,	"整数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
98,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,	i,0,	"整数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
99,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,	f,0.0,	"実数 属性 1",	""
100,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,	f,0.0,	"実数 属性 2",	""
101,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,	f,0.0,	"実数 属性 3",	""
102,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,	f,0.0,	"実数 属性 4",	""
103,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,	f,0.0,	"実数 属性 5",	""
104,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,	f,0.0,	"実数 属性 6",	""
105,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,	f,0.0,	"実数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
106,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,	f,0.0,	"実数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
107,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,	c,"",	"文字 属性 1",	""
108,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,	c,"",	"文字 属性 2",	""
109,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,	c,"",	"文字 属性 3",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
110,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,	c,"",	"文字 属性 4",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
end			
#			
KcxObjtp_POINT_AI			
1,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,	c,"%8.2f",	"表示フォーマット",	"画面各所の表示に利用される"
2,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,	i,0,	"単位",	"単位登録画面の登録から選択"
3,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,	i,0,	"グループ 1",	"大分類表示"
4,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,	i,0,	"グループ 2",	"小分類表示"

5,00010,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,	i,0,	"入力系ダイアログ画面選択", "取扱説明書参照: 0=環境依存 1=表示 2=表示+設定"
6,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,	i,10,	"Web 画面操作許可レベル", "予備"
7,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,	i,1,	"Web 画面表示", "Web(大)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
8,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,	i,0,	"携帯画面表示", "携帯(小)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
9,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,	f,100.0,	"上限スケール値 (表示用)", "監視画面メータのスケールに影響"
10,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,	f, 0.0,	"下限スケール値 (表示用)", "監視画面メータのスケールに影響"
11,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_IfcHiRangeFltVal,	f,105.0,	"上限スケール値 (通信用)", "通信プログラムがスケール(単位値)変換に使用"
12,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_IfcLowRangeFltVal,	f, -5.0,	"下限スケール値 (通信用)", "通信プログラムがスケール(単位値)変換に使用"
13,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxCounterIntVal,	i,999999,	"積算カウンタ上限値", "積算カウンタとして使用時の周回山超え値"
14,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmMaxValueFltVal,	f,0.0,	"実数積算上限値", "(実数積算の上限値)"
15,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmCntMulRateIntVal,	i,10000,	"積算カウンタ乗率", "積算カウンタ値の補正変換乗率 (10000 が 1 倍)"
16,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_AcmValMulRateFltVal,	f,1.0,	"実数積算乗率", "(実数積算値の補正変換乗率 (1.0 が 1 倍))"
17,00102,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,	i,0,	"警報発生許可(元)", "警報発生の実行許可 (制御プログラム依存)"
18,00102,KcxTBLtp_OBJALARM_LockEnable,	i,0,	"ロック操作", "警報メール送信一時停止など (制御プログラム依存)"
19,01002,KcxTBLtp_OBJPOINT_LogRepListFormType,	i,0,	"日報処理方法", "帳票パラメータ参照 (帳票プログラム依存)"
20,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,	c, "analog",	"履歴書式テーブル", "操作及び警報の履歴情報セットの選択"
21,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,	i,0,	"履歴警報レベル", "上下限警報未使用時のデータ (制御プログラム依存)"
22,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,	i,0,	"警報メール許可", "制御プログラム依存"
23,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,	i,0,	"警報メール先 (アドレス帳番号)", "制御プログラム依存"
24,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,	i,0,	"警報メール文 (電文番号)", "制御プログラム依存"
25,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitEnable,	i,0,	"H3(***) 警報機能有効", "レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
26,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitPerm,	i,0,	"H3 上限警報監視許可", "現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
27,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysH_FltVal,	f,92.0,	"H3 警報値 (不感帯上値=a)", "警報判断用"
28,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimDisp_FltVal,	f,90.0,	"H3 警報値 (表示用)", "画面表示に使用"
29,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysL_FltVal,	f,88.0,	"H3 警報値 (不感帯下値=b:a>b)", "警報判断用"
30,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventKey,	i,0,	"H3 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)", "操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
31,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventStat,	i,0,	"H3 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)", "履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
32,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventPerm,	i,0,	"H3 メール許可", "制御プログラム依存"
33,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailTo,	i,0,	"H3 メール先 (アドレス帳番号)", "制御プログラム依存"
34,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailMsg,	i,0,	"H3 メール文 (電文番号)", "制御プログラム依存"
35,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventCtlCode,	i,0,	"H3 警報制御コマンドコード", "制御プログラム依存"
36,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitEnable,	i,0,	"H2(**) 警報機能有効", "レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
37,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitPerm,	i,0,	"H2 上限警報監視許可", "現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
38,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysH_FltVal,	f,82.0,	"H2 警報値 (不感帯上値=a)", "警報判断用"
39,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimDisp_FltVal,	f,80.0,	"H2 警報値 (表示用)", "画面表示に使用"
40,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysL_FltVal,	f,78.0,	"H2 警報値 (不感帯下値=b:a>b)", "警報判断用"
41,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventKey,	i,0,	"H2 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)", "操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
42,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventStat,	i,0,	"H2 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)", "履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
43,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventPerm,	i,0,	"H2 メール許可", "制御プログラム依存"
44,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailTo,	i,0,	"H2 メール先 (アドレス帳番号)", "制御プログラム依存"
45,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailMsg,	i,0,	"H2 メール文 (電文番号)", "制御プログラム依存"
46,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventCtlCode,	i,0,	"H2 警報制御コマンドコード", "制御プログラム依存"
47,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitEnable,	i,0,	"H1(*) 警報機能有効", "レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
48,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitPerm,	i,0,	"H1 上限警報監視許可", "現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
49,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysH_FltVal,	f,72.0,	"H1 警報値 (不感帯上値=a)", "警報判断用"
50,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimDisp_FltVal,	f,70.0,	"H1 警報値 (表示用)", "画面表示に使用"
51,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysL_FltVal,	f,68.0,	"H1 警報値 (不感帯下値=b:a>b)", "警報判断用"
52,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventKey,	i,0,	"H1 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)", "操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
53,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventStat,	i,0,	"H1 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)", "履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
54,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventPerm,	i,0,	"H1 メール許可", "制御プログラム依存"
55,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailTo,	i,0,	"H1 メール先 (アドレス帳番号)", "制御プログラム依存"
56,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailMsg,	i,0,	"H1 メール文 (電文番号)", "制御プログラム依存"
57,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventCtlCode,	i,0,	"H1 警報制御コマンドコード", "制御プログラム依存"
58,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitEnable,	i,0,	"L1(*) 警報機能有効", "レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
59,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitPerm,	i,0,	"L1 下限警報監視許可", "現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
60,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysL_FltVal,	f,32.0,	"L1 警報値 (不感帯下値=a)", "警報判断用"
61,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimDisp_FltVal,	f,30.0,	"L1 警報値 (表示用)", "画面表示に使用"
62,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysH_FltVal,	f,28.0,	"L1 警報値 (不感帯上値=b:a>b)", "警報判断用"
63,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventKey,	i,0,	"L1 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)", "操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
64,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventStat,	i,0,	"L1 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)", "履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
65,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventPerm,	i,0,	"L1 メール許可", "制御プログラム依存"
66,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailTo,	i,0,	"L1 メール先 (アドレス帳番号)", "制御プログラム依存"
67,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailMsg,	i,0,	"L1 メール文 (電文番号)", "制御プログラム依存"
68,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventCtlCode,	i,0,	"L1 警報制御コマンドコード", "制御プログラム依存"
69,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitEnable,	i,0,	"L2(**) 警報機能有効", "レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
70,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitPerm,	i,0,	"L2 下限警報監視許可", "現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
71,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysL_FltVal,	f,22.0,	"L2 警報値 (不感帯下値=a)", "警報判断用"
72,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimDisp_FltVal,	f,20.0,	"L2 警報値 (表示用)", "画面表示に使用"
73,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysH_FltVal,	f,18.0,	"L2 警報値 (不感帯上値=b:a>b)", "警報判断用"
74,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventKey,	i,0,	"L2 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)", "操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
75,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventStat,	i,0,	"L2 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)", "履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"

76,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventPerm,	i,0,	"L2 メール許可",	"制御プログラム依存"
77,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailTo,	i,0,	"L2 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
78,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailMsg,	i,0,	"L2 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
79,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventCtlCode,	i,0,	"L2 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
80,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitEnable,	i,0,	"L3(***) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
81,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitPerm,	i,0,	"L3 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
82,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysL_FltVal,	f,12.0,	"L3 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
83,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimDisp_FltVal,	f,10.0,	"L3 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
84,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysH_FltVal,	f,08.0,	"L3 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
85,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventKey,	i,0,	"L3 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
86,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventStat,	i,0,	"L3 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
87,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventPerm,	i,0,	"L3 メール許可",	"制御プログラム依存"
88,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailTo,	i,0,	"L3 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
89,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailMsg,	i,0,	"L3 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
90,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventCtlCode,	i,0,	"L3 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
91,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,	i,0,	"整数 属性 1",	""
92,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,	i,0,	"整数 属性 2",	""
93,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,	i,0,	"整数 属性 3",	""
94,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,	i,0,	"整数 属性 4",	""
95,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,	i,0,	"整数 属性 5",	""
96,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,	i,0,	"整数 属性 6",	""
97,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,	i,0,	"整数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
98,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,	i,0,	"整数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
99,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,	f,0.0,	"実数 属性 1",	""
100,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,	f,0.0,	"実数 属性 2",	""
101,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,	f,0.0,	"実数 属性 3",	""
102,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,	f,0.0,	"実数 属性 4",	""
103,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,	f,0.0,	"実数 属性 5",	""
104,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,	f,0.0,	"実数 属性 6",	""
105,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,	f,0.0,	"実数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
106,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,	f,0.0,	"実数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
107,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,	c,"",	"文字 属性 1",	""
108,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val,	c,"",	"文字 属性 2",	""
109,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val,	c,"",	"文字 属性 3",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
110,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val,	c,"",	"文字 属性 4",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
end			
#			
#KcxOBJtp_POINT_iAO			
#end			
#			
KcxOBJtp_POINT_AO			
1,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefFormat,	c,"%8.2f",	"表示フォーマット",	"画面各所の表示に利用される"
2,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_UnitCode,	i,0,	"単位",	"単位登録画面の登録から選択"
3,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey,	i,0,	"グループ 1",	"大分類表示"
4,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey,	i,0,	"グループ 2",	"小分類表示"
5,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_DefDlgWinType,	i,0,	"入力系ダイアログ画面選択",	"取扱説明書参照: 0=環境依存 1=表示 2=表示+設定"
6,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebWrtCtlLevel,	i,10,	"Web 画面操作許可レベル",	"予備"
7,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm,	i,1,	"Web 画面表示",	"Web(大)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
8,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,	i,0,	"携帯画面表示",	"携帯(小)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
9,01002,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogPerm,	i,0,	"操作記録許可",	"履歴への書込 (制御プログラム依存)"
10,01000,KcxTBLtp_OBJPOINT_NrmEvtLogLevel,	i,0,	"操作履歴レベル",	"3,2,1,0 (制御プログラム依存)"
11,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyHiRangeFltVal,	f,100.0,	"上限スケール値 (表示用)",	"監視画面メータのスケールに影響"
12,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DpyLowRangeFltVal,	f, 0.0,	"下限スケール値 (表示用)",	"監視画面メータのスケールに影響"
13,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_SetHiRangeFltVal,	f, 95.0,	"上限スケール値 (設定用)",	"設定時の制限"
14,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_SetLowRangeFltVal,	f, 5.0,	"下限スケール値 (設定用)",	"設定時の制限"
15,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ifcHiRangeFltVal,	f,105.0,	"上限スケール値 (通信用)",	"通信プログラムがスケール変換に使用"
16,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ifcLowRangeFltVal,	f,-5.0,	"下限スケール値 (通信用)",	"通信プログラムがスケール変換に使用"
17,00102,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm,	i,0,	"警報発生許可(元)",	"警報発生の実行許可 (制御プログラム依存)"
18,00102,KcxTBLtp_OBJPOINT_LockEnable,	i,0,	"ロック操作",	"警報メール送信一時停止など (制御プログラム依存)"
19,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName,	c,"analog",	"履歴書式テーブル",	"操作及び警報の履歴情報セットの選択"
20,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_EventLevel,	i,0,	"履歴警報レベル",	"上下限警報未使用時のデータ (制御プログラム依存)"
21,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_EventPerm,	i,0,	"警報メール許可",	"制御プログラム依存"
22,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailTo,	i,0,	"警報メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
23,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_EventMailMsg,	i,0,	"警報メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
24,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitEnable,	i,0,	"H3(***) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
25,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimitPerm,	i,0,	"H3 上限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラム依存)"
26,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysH_FltVal,	f,92.0,	"H3 警報値 (不感帯上値=a)",	"警報判断用"
27,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimDisp_FltVal,	f,90.0,	"H3 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
28,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_LimHysL_FltVal,	f,88.0,	"H3 警報値 (不感帯下値=b:a>b)",	"警報判断用"
29,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventKey,	i,0,	"H3 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
30,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventStat,	i,0,	"H3 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうした)"
31,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventPerm,	i,0,	"H3 メール許可",	"制御プログラム依存"
32,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailTo,	i,0,	"H3 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
33,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventMailMsg,	i,0,	"H3 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
34,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi3_EventCtlCode,	i,0,	"H3 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"

35,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitEnable,	i,0,	"H2(**) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
36,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimitPerm,	i,0,	"H2 上限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラ ム依存)"
37,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysH_FltVal,	f,82.0,	"H2 警報値 (不感帯上値=a)",	"警報判断用"
38,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimDisp_FltVal,	f,80.0,	"H2 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
39,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_LimHysL_FltVal,	f,78.0,	"H2 警報値 (不感帯下値=b:a>b)",	"警報判断用"
40,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventKey,	i,0,	"H2 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
41,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventStat,	i,0,	"H2 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうし た)"
42,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventPerm,	i,0,	"H2 メール許可",	"制御プログラム依存"
43,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailTo,	i,0,	"H2 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
44,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventMailMsg,	i,0,	"H2 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
45,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi2_EventCtlCode,	i,0,	"H2 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
46,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitEnable,	i,0,	"H1(*) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
47,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimitPerm,	i,0,	"H1 上限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラ ム依存)"
48,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysH_FltVal,	f,72.0,	"H1 警報値 (不感帯上値=a)",	"警報判断用"
49,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimDisp_FltVal,	f,70.0,	"H1 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
50,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_LimHysL_FltVal,	f,68.0,	"H1 警報値 (不感帯下値=b:a>b)",	"警報判断用"
51,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventKey,	i,0,	"H1 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
52,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventStat,	i,0,	"H1 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうし た)"
53,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventPerm,	i,0,	"H1 メール許可",	"制御プログラム依存"
54,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailTo,	i,0,	"H1 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
55,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventMailMsg,	i,0,	"H1 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
56,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Hi1_EventCtlCode,	i,0,	"H1 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
57,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitEnable,	i,0,	"L1(*) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
58,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimitPerm,	i,0,	"L1 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラ ム依存)"
59,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysL_FltVal,	f,32.0,	"L1 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
60,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimDisp_FltVal,	f,30.0,	"L1 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
61,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_LimHysH_FltVal,	f,28.0,	"L1 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
62,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventKey,	i,0,	"L1 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
63,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventStat,	i,0,	"L1 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうし た)"
64,02100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventPerm,	i,0,	"L1 メール許可",	"制御プログラム依存"
65,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailTo,	i,0,	"L1 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
66,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventMailMsg,	i,0,	"L1 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
67,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo1_EventCtlCode,	i,0,	"L1 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
68,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitEnable,	i,0,	"L2(**) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
69,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimitPerm,	i,0,	"L2 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラ ム依存)"
70,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysL_FltVal,	f,22.0,	"L2 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
71,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimDisp_FltVal,	f,20.0,	"L2 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
72,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_LimHysH_FltVal,	f,18.0,	"L2 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
73,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventKey,	i,0,	"L2 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
74,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventStat,	i,0,	"L2 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうし た)"
75,00300,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventPerm,	i,0,	"L2 メール許可",	"制御プログラム依存"
76,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailTo,	i,0,	"L2 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
77,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventMailMsg,	i,0,	"L2 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
78,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo2_EventCtlCode,	i,0,	"L2 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
79,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitEnable,	i,0,	"L3(***) 警報機能有効",	"レベル別警報監視 (制御プログラム依存)"
80,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimitPerm,	i,0,	"L3 下限警報監視許可",	"現警報監視許可 (警報機能有効時プログラ ム依存)"
81,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysL_FltVal,	f,12.0,	"L3 警報値 (不感帯下値=a)",	"警報判断用"
82,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimDisp_FltVal,	f,10.0,	"L3 警報値 (表示用)",	"画面表示に使用"
83,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_LimHysH_FltVal,	f,08.0,	"L3 警報値 (不感帯上値=b:a>b)",	"警報判断用"
84,00100,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventKey,	i,0,	"L3 履歴書式キー番号 (Ev_KEY)",	"操作及び警報レベルと履歴メッセージの選択"
85,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventStat,	i,0,	"L3 履歴書式選択 状態 (Ev_STAT)",	"履歴書式テーブルの書式選択に使用 (どうし た)"
86,00120,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventPerm,	i,0,	"L3 メール許可",	"制御プログラム依存"
87,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailTo,	i,0,	"L3 メール先 (アドレス帳番号)",	"制御プログラム依存"
88,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventMailMsg,	i,0,	"L3 メール文 (電文番号)",	"制御プログラム依存"
89,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_Lo3_EventCtlCode,	i,0,	"L3 警報制御コマンドコード",	"制御プログラム依存"
90,01000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtectSec,	i,0,	"連続操作禁止時間(秒)",	"制御プログラム依存"
91,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val,	i,0,	"整数 属性 1",	" "
92,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val,	i,0,	"整数 属性 2",	" "
93,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val,	i,0,	"整数 属性 3",	" "
94,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val,	i,0,	"整数 属性 4",	" "
95,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val,	i,0,	"整数 属性 5",	" "
96,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val,	i,0,	"整数 属性 6",	" "
97,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val,	i,0,	"整数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
98,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val,	i,0,	"整数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
99,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val,	f,0.0,	"実数 属性 1",	" "
100,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val,	f,0.0,	"実数 属性 2",	" "
101,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val,	f,0.0,	"実数 属性 3",	" "
102,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val,	f,0.0,	"実数 属性 4",	" "
103,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val,	f,0.0,	"実数 属性 5",	" "
104,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val,	f,0.0,	"実数 属性 6",	" "
105,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val,	f,0.0,	"実数 属性 7",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
106,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val,	f,0.0,	"実数 属性 8",	"「オブジェクト動的変更」画面非表示項目"
107,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val,	c,"",	"文字 属性 1",	" "

```

108,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val, c,"", "文字 属性 2", ""
109,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val, c,"", "文字 属性 3", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
110,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val, c,"", "文字 属性 4", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
end
#
KcxOBJtp_POINT_IMG
1,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_1stGroupKey, i,0, "グループ 1", "大分類表示"
2,00012,KcxTBLtp_OBJGROUPATBUT_2ndGroupKey, i,0, "グループ 2", "小分類表示"
3,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_WebDpyObjListPerm, i,1, "Web 画面表示", "Web(大)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
4,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_SmallDpyObjListPerm,i,0, "携帯画面表示", "携帯(小)画面一覧に表示 (親画面でも設定可)"
5,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_InputChanel, i,0, "キャプチャ入力チャネル(CH)", "0(キャプチャ無効), 1,2,3,4 {WebCam 時:0}"
6,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_DriverType, c,"bt848", "キャプチャドライバ", "bt848, bt878"
7,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgWidthDots, i,320, "画像幅ドット", "160, 320, 352, 640, その他 {WebCam 時:???"
8,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgHeightDots, i,240, "画像高ドット", "120, 240, 240, 480, その他 {WebCam 時:???"
9,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ScreenBright, i,100, "明るさ", "キャプチャ= 1(暗)繰・00(標準)繰・00(明)"
10,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ScreenContrast, i,100, "コントラスト", "キャプチャ= 1(低)繰・00(標準)繰・00(高)"
11,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyJpgQuality, i,70, "CRT 表示画像クオリティ(jpg)", "1(小容量)繰・0(標準)繰・00(高解像)"
12,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgWebJpgQuality, i,70, "WEB 表示画像クオリティ(jpg)", "キャプチャ= 1(小容量)繰・0(標準)繰・00(高解像)"
13,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRecJpgQuality, i,70, "記録画像クオリティ(jpg)", "1(小容量)繰・0(標準)繰・00(高解像)"
14,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRdWtDpySemKey, i,30000, "CRT 表示排他制御 ID", "IPC セマフォ値 (必ず唯一な値であること)"
15,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRdWtWebSemKey, i,30001, "WEB 表示排他制御 ID", "IPC セマフォ値 (必ず唯一な値であること)"
16,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgRdWtRecSemKey, i,30002, "記録表示排他制御 ID", "IPC セマフォ値 (必ず唯一な値であること)"
17,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutUDots, i,0, "描画上削除ドット", "備考: 監視パネル画像表示 上部カット"
18,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutDDots, i,0, "描画下削除ドット", "備考: 監視パネル画像表示 下部カット"
19,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutRDots, i,0, "描画右削除ドット", "備考: 監視パネル画像表示 右部カット"
20,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyCutLDots, i,0, "描画左削除ドット", "備考: 監視パネル画像表示 左部カット"
21,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileName, c,"", "画像ファイル名", "子備:"
22,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFormatOpt, c,"ZPixmap", "フォーマットオプション", "標準=[ZPixmap], [XPixmap]"
23,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgDpyFormat, c,"x11", "CRT 画像フォーマット", "標準=[x11], [jpg] {WebCam 時:jpg}"
24,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgWebFormat, c,"jpg", "WEB 画像フォーマット", "標準=[jpg]"
25,00001,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileDpyExtname, c,"raw", "CRT 画像拡張子", "標準=[raw], [jpg] {WebCam 時:jpg}"
26,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileWebExtname, c,"jpg", "WEB 画像拡張子", "標準=[jpg]"
27,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_DeviceName, c,"", "キャプチャデバイス名", "備考: /dev/video0"
28,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_DeviceSpeed, i,0, "デバイス動作速度", "子備:"
29,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_NtscPalEtc, i,1, "信号変調方式", "NTSC=1"
30,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ColorType, c,"", "カラータイプ", "子備:"
31,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ColorPlane, i,0, "カラー階層", "子備:"
32,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileVByte, i,2, "画像深さ(バイト)", "標準=2, 1,3,4,"
33,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileVRGBtp, i,565, "画像 RGB 並び", "標準=0(Default), 555,565"
34,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ImgFileBitPad, i,16, "画像データ境界幅", "標準=0(Default), 8,16,32"
35,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_Protocol, c,"", "処理プロトコル", ""
36,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtocolOpt0, c,"", "オプション 0", ""
37,00000,KcxTBLtp_OBJPOINT_ProtocolOpt1, c,"", "オプション 1", ""
38,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_AlarmPerm, i,0, "警報許可", "警報発生の実行許可"
39,00000,KcxTBLtp_OBJALARM_RecTextCnvldName, c,".system", "履歴書式テーブル", "操作及び警報の履歴情報セットの選択"
40,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt0Val, i,0, "整数 属性 1", ""
41,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt1Val, i,0, "整数 属性 2", ""
42,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt2Val, i,0, "整数 属性 3", ""
43,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt3Val, i,0, "整数 属性 4", ""
44,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt4Val, i,0, "整数 属性 5", ""
45,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt5Val, i,0, "整数 属性 6", ""
46,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt6Val, i,0, "整数 属性 7", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
47,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButInt7Val, i,0, "整数 属性 8", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
48,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt0Val, f,0.0, "実数 属性 1", ""
49,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt1Val, f,0.0, "実数 属性 2", ""
50,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt2Val, f,0.0, "実数 属性 3", ""
51,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt3Val, f,0.0, "実数 属性 4", ""
52,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt4Val, f,0.0, "実数 属性 5", ""
53,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt5Val, f,0.0, "実数 属性 6", ""
54,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt6Val, f,0.0, "実数 属性 7", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
55,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButFlt7Val, f,0.0, "実数 属性 8", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
56,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText0Val, c,"", "文字 属性 1", "システム(キャプチャ)からのメッセージに使用"
57,30000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText1Val, c,"", "文字 属性 2", "システム(レコーダ)からのメッセージに使用"
58,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText2Val, c,"", "文字 属性 3", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
59,10000,KcxTBLtp_OBJPOINT_AttButText3Val, c,"", "文字 属性 4", "[オブジェクト動の変更]画面非表示項目"
end
#

```

